

第4次宮代町総合計画 後期実行計画(H28～H32)

平成29年度
上期進捗状況

第4次総合計画後期実行計画 平成29年度上期進捗結果一覧表

事業名	ページ	上期結果	平成29年度上期実施結果	担当
地域交流サロン支援事業	1	完了	地域が運営する地域交流サロンの運営支援 サロンに関わる担い手の育成	健康介護課
地域敬老会支援事業	3	完了	地域敬老会補助金制度などにより、地区・自治会が 開催する敬老会を支援	健康介護課
介護予防・健康づくり活動支援事業	5	一部未完了	介護予防効果の検証。介護予防・健康づくりに関する リーダーの養成	健康介護課
防災コミュニティ促進事業	7	完了	防災・防災マスター講座の開催 デジタル防災行政無線の整備	町民生活課
市民、活動、地域資源の縁結び事業	10	完了	市民活動情報の収集とPR。やりたいゾウ登録者の 講座等への活用、マッチングの推進	町民生活課
上手に使おう集会所事業	12	完了	集会所、地区・自治会情報を町ホームページで紹介 集会所の拠点化に向けた修繕等の実施	町民生活課
人権尊重平和事業	13	完了	人権教育研修会の実施 平和パネル展、平和啓発事業の実施	総務課 教育推進課
宮代型観光推進事業	15	完了	新しい村グリーンツーリズム事業の実施 観光を担う団体と連携し観光カレンダーを制作	産業観光課
宮代町の魅力推進事業	17	完了	ツリークライミングなどの五楽体験イベントを開催 宮代桜百選として桜の写真コンテストを実施	町民生活課
市民の活動をつなぐインターネット放送局	20	一部未完了	市民特派員による地域の話題の取材とYouTube を活用した動画の発信。デジカメ動画講座の実施。	総務課
みんなで子育て！こども未来事業	22	完了	子育て応援ウェブサイトの運用開始。子育て広場の 利用者が企画に参加したイベントの開催。	福祉課
みやしろ定住促進作戦	25	完了	定住促進サイト「みやしろで暮らそっ」による情報発信。 みやしろ初めてツアー実施	企画財政課
宮代ファーマーズタウン推進事業	30	一部未完了	市民農園開設の補助金制度を周知 市民農業大学に替わる取組みの検討	産業観光課
道仏土地区画整理周辺整備事業	32	一部未完了	道仏土地区画整理事業の支援 春日部久喜線にかかる用地買収の実施	まちづくり建設課
東武動物公園駅西口周辺整備事業	33	一部未完了	中央通り線の用地交渉 中央通り線整備工事(無電柱化工事)を実施	まちづくり建設課
東武動物公園駅東口周辺整備事業	34	完了	関係機関との協議を進め事業認可を取得。権利者の 事業に対する合意形成に向け協議会開催。	まちづくり建設課
まちなか起業創業支援事業	35	完了	空き店舗改修費補助金制度の見直し。「働く」に関わ るウェブサイト「宮代で働こっ」運用開始	産業観光課
障がい者の雇用創出事業	37	完了	障がい者就労施設等からの物品等調達方針及び調 達実績の公表	福祉課
宮代町農業の6次化推進事業	39	完了	宮代町の地域伝統食の発掘 新たな6次化商品の開発にむけた調査・研究	産業観光課
明日の農業担い手支援事業	41	完了	農業担い手塾塾生の受入れと自立支援 町内農業への民間企業、法人等の誘致	産業観光課
宮代町農業生産基盤整備推進事業	43	完了	過度な経費負担を伴わない基盤整備事業の推進に あたり、水田農業に関するアンケート調査を実施	産業観光課
公共施設再編第2期計画	47	一部未完了	小中学校適正配置の推進にあたっての長寿命化の 検討。借地解消に向けた地権者との交渉	企画財政課 教育推進課

完了＝16事業(73%) 一部未完了＝6事業(27%) 未完了＝0事業

合計22事業

地域交流サロン支援事業

健康介護課

企画趣旨

地域に住む人たちが気軽に集える場（交流サロン）を地域住民が主体的に運営提供することで、高齢者の閉じこもりを解消します。そこでは多様な活動を展開することで、世代を超えた交流を生み出し、高齢者の元気アップにつなげていきます。

平成 29 年度 上半期の実施内容／工程実施状況【完了】

(1) サロン連絡会への参加と課題の集約

- ・5月に社協主催のサロン連絡会に町と12のサロン団体が参加しました。連絡会において、町では出前講座の案内、8月に行うレクリエーション研修のお知らせ、介護予防リーダーの受け入れ依頼、宮代カルタの配布など、サロン活動の充実に向けた情報提供を行いました。

(2) サロンに関わる担い手の育成

- ・サロン運営のキーマン育成のため、7月から9月にかけて、全6回で開催する介護予防リーダー養成講座を周知・実施し、15の方がリーダーとなりました。また、地域で活動することを体験してもらう機会として、サロン団体にリーダーの受け入れを依頼し協力いただきました。また、9月にプラスアップ講座として、学んだ介護予防の知識を地域へと広めることについての動機づけを図りました。

主な成果目標（平成 28 年～平成 32 年）

○集会所等を活用したサロンの開催 町内 30 か所⇒ 22 か所 ※平成 29 年度 9 月 30 日現在

後期実行計画で示した工程

実施内容	実施主体	実施年度									
		H28		H29		H30		H31		H32	
		上	下	上	下	上	下	上	下	上	下
支援内容の見直し	健康介護課	→									
実施団体による意見交換会の開催	健康介護課	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
サロン運営のキーマン育成	健康介護課	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

平成 29 年度 下半期の実施予定

(1) サロン連絡会への参加と課題の集約

10月に社協主催のサロン連絡会に町として参加し、サロン活動が充実するための情報提供、運営に関する意見交換会を実施し、活動する上での悩み・課題の集約するとともに、解消方法等のアドバイスをを行います。

(2) サロンに関わる担い手の育成

2月から3月にかけて、サロンを始めようとしている方、現在、サロンを運営している方がともに、楽しく居場所づくりに取り組めるよう、社協主催により地域交流サロン立ち上げ講座兼フォローアップ講座を開催します。

(3) 世代を超えた交流支援

地域交流サロンへの参加・体験を希望する学生等の紹介を行うことで、世代を超えた交流を支援し、高齢者の元気アップに繋がります。



[トップ](#) ▶ [暮らしの情報](#) ▶ [医療・健康・福祉](#) ▶ [地域交流サロン](#) ▶

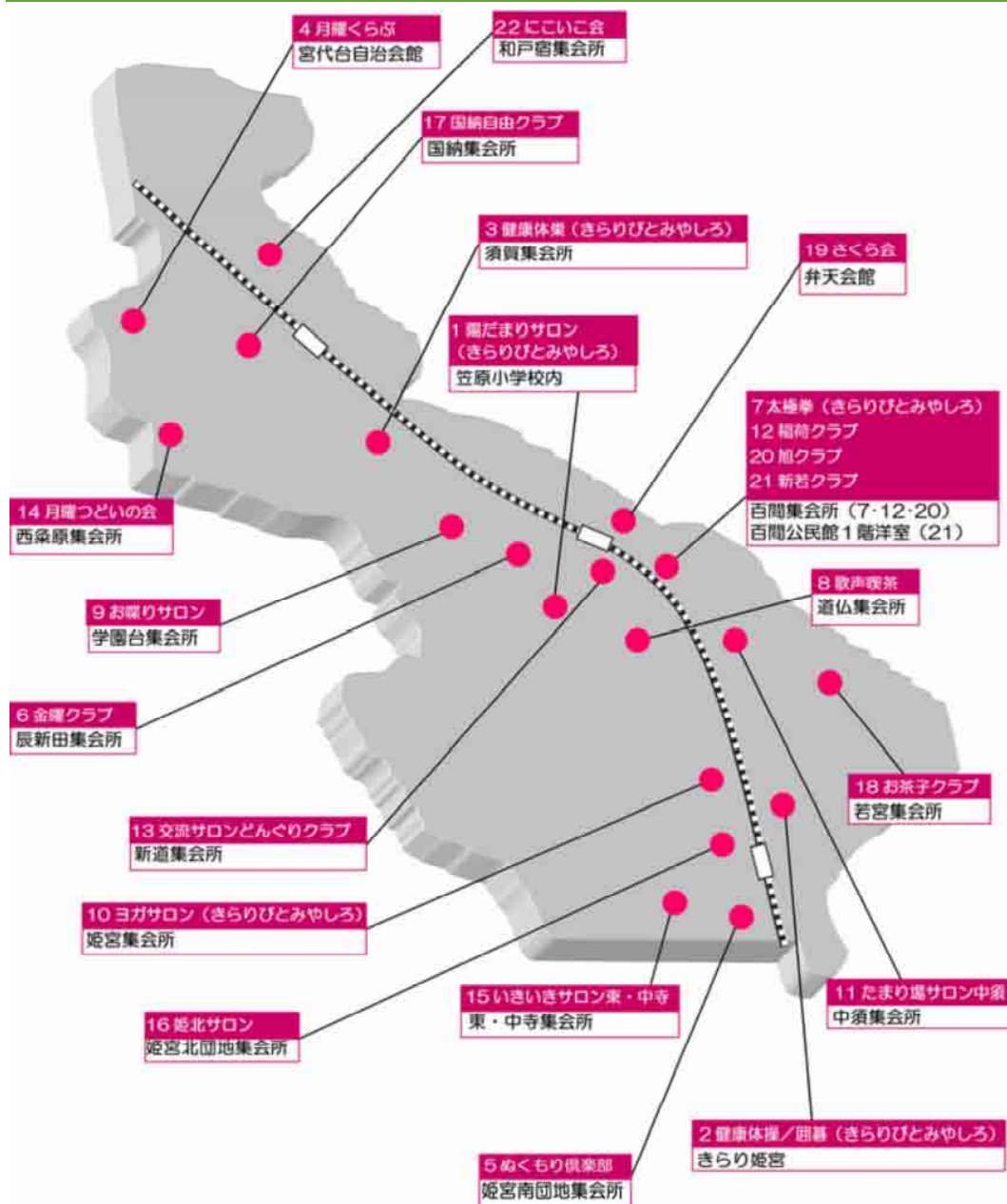
地域交流サロン活動状況

[2017年9月4日] ID:5722

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます



地域交流サロン活動マップ



※各サロンの詳細ページは、右下にあるサロン名を選んでください。地図と一覧表と活動状況（右欄）のサロン番号は合わせていますので、それぞれ参考にしてご覧ください。

※サロンマップや各サロンの紹介をまとめた「地域交流サロンハンドブック」のデータもあります。活動日一覧の下にありますので、ダウンロードしてご利用ください。

地域敬老会支援事業

健康介護課

企画趣旨

参加しやすい地域単位での敬老会の開催へと移行を進めながら、地域主体で継続できる敬老会にしていけます。元気な高齢者が活躍でき、働き盛りや子育て世代、子どもたちを巻き込んだ幅広い世代交流で、地域コミュニティの醸成を図ります。

平成 29 年度 上半期の実施内容／工程実施状況【完了】

- (1) 運営マニュアルの見直し
- 平成 28 年度に実施したアンケート結果を踏まえ、敬老会の様子が写真で伝わる運営マニュアルを作成しました。また、申請の手引きに補助金の対象経費を分かりやすく整理した資料を追加しました。
- (2) 地区連絡会での P R
- 5 月の地区連絡会にて、地域敬老会の趣旨を説明し、未開催地区での実施を呼びかけたところ、1 地区において開催の運びとなりました。
- (3) 開催に向けた相談及び運営支援と開催地区の P R
- 地域敬老会開催に関する相談等に随時対応し、スムーズな運営ができるよう支援しました。また、各地域で開催された敬老会の様子を町ホームページに掲載しました。あわせて、主催者から投稿された記事や写真も町ホームページに掲載し、開催地区の P R を行いました。

主な成果目標（平成 28 年～平成 32 年）

○全地区（78 地区）で敬老事業を実施⇒ 35 地区で実施 ※平成 29 年 9 月 30 日現在

後期実行計画で示した工程

実施内容	実施主体	実施年度									
		H28		H29		H30		H31		H32	
		上	下	上	下	上	下	上	下	上	下
支援内容の見直し	健康介護課	→									
地域敬老会の運営支援	健康介護課	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

平成 29 年度 下半期の実施予定

- (1) 開催に向けた相談及び運営支援
- 前期から引き続き、敬老会運営の支援を行います。また、町ホームページ等を活用して、地域敬老会の周知を行います。
- (2) アンケートの実施、課題の検討及び見直し
- 実施地区、未実施地区を含め、意見を収集し、敬老会事業を円滑に運営するために、課題を検討していきます。
- (3) 地域敬老会開催地区促進の P R
- 広報及び町ホームページ等を活用し、開催地区の P R 活動を支援していきます。



[トップ](#) ▶ [暮らしの情報](#) ▶ [医療・健康・福祉](#) ▶ [高齢者福祉](#) ▶ [いきがい・仲間づくり](#) ▶

地域 みんなでお祝い 「敬老会」を開催しました

[2017年9月29日] ID:7021

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます



地域敬老会を開催しました(新道・宮代・中央・笠原8町会)

平成29年9月14日（木）進修館大ホールにおいて「第五回 新道宮代中央笠原8町会 地域敬老会」が開催されました。

当日は、皆さんの日頃の心がけの良さも手伝い晴れて、絶好の日和となり、おかげさまで当日の参加者も大きく伸びて敬老会は盛大に行われました。参加者は、75歳以上の参加予定者約210名の内、190名の多くの方が参加されました。（8町会での対象者は464名です） 本年の地域敬老会は過去4回の経験を活かし時間配分を「高齢の方に優しく」を考慮し、午前と午後の部に分かれ、午後は1時間短く致しました。又、皆さんが参加できるよう趣向を凝らした内容で、来賓（榎本町長、唐沢議員）をお迎えし午前の部は、午前10時00分にスタート、式典の後に、グリーンフルトネーズの生バンド演奏、新井さんのアコーディオン、町職員の講演（長寿の秘訣と軽体操）、寿楽会の踊り・合唱、午後の部は、昼食とビンゴゲーム、13時15分には終了するという中味を濃くし、皆さんが疲れないように工夫致しました。内容としては、グリーンフルトネーズの素晴らしい演奏に皆さん満足し、講演で軽体操を挟んで身体を休めたり、ビンゴゲームでは、景品のほかに10名に特別賞を差し上げたりと皆さんで大いにはしゃいで、笑って、歌って、隣の人とのお喋りに花を咲かせた一日になりました。 ご参加いただいた8町会連合会のご長寿の皆さん有難う御座いました。皆さん方が築いたこの宮代町を、そして8町会連合会の格式ある伝統を守り繋いで参りたいと役員一同で思いを新たに致しました。

これからも健康に留意され、来年も役員・民生委員・寿楽会・ボランティア・総勢31人の手作りの「地域敬老会」に参加されることを楽しみにしております。

新道宮代中央笠原8町会

8町会連合会会長

青木照雄



企画趣旨

地域が主体的に行う介護予防・健康づくりに資する活動を支援し、多くの町民の介護予防・健康づくり活動を促進します。

平成 29 年度 上半期の実施内容／工程実施状況【一部未完了】

(1) 介護予防効果の検証と結果の公表

- ・地域の健康づくり活動団体における活動の介護予防効果については、参加者が流動的であることから十分な検証データを収集することが困難でありました。そのため、予防効果の検証結果を介護予防・健康づくり活動支援事業の充実につなげることはできませんでしたが、平成 29 年 4 月から開始した「いきいきプラザ」（全国的にその効果が実証されている筋力アップ体操「いきいき 100 歳体操」を行なう事業）を介護予防・健康づくり活動支援事業と並行して実施していくことで、地域の健康づくりの充実化を図っていきます。

(2) 介護予防・健康づくりに関するリーダーの養成

- ・介護予防リーダー養成講座を 6 月 29 日から 8 月 31 日にかけて 6 回開催し、15 名の介護予防リーダーを育成しました。
- ・介護予防リーダーステップアップ勉強会を 6 月 6 日に開催し 38 名が参加しました。また、自主活動グループへの健康運動指導士の派遣を P R しました。

(3) みやしろキラキラ体操の普及

- ・町主催の介護予防教室および出前講座において、のべ 279 名へ普及を行いました。
- ・介護予防リーダー養成講座およびプラザサポーター養成講座において、みやしろキラキラ体操の D V D 貸出の P R を行いました。

主な成果目標（平成 28 年～平成 32 年）

○健康づくり活動団体 20 団体⇒ 13 団体

○介護予防リーダーの養成確保 120 人⇒116 人

○全ての活動団体においてみやしろキラキラ体操実施⇒ 6 団体/13 団体

※平成 29 年 9 月 30 日現在

後期実行計画で示した工程

実施内容	実施主体	実施年度									
		H28		H29		H30		H31		H32	
		上	下	上	下	上	下	上	下	上	下
介護予防効果の検証と結果の公表	健康介護課	→									
介護予防リーダー養成講座の実施、自主グループへの講師派遣など	健康介護課	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
みやしろキラキラ体操の普及（イベントなどでの活用）	健康介護課 関係課	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

平成 29 年度 下半期の実施予定

(1) 介護予防・健康づくりに関するリーダーの養成

- ・介護予防リーダーステップアップ勉強会の開催をし、介護予防リーダーのスキルアップを図ります。また、自主活動グループへの健康運動指導士の派遣を引き続き P R します。

(2) みやしろキラキラ体操の普及

- ・町主催の介護予防教室および、出前講座での普及を引き続き行います。
- ・みやしろキラキラ体操の D V D の貸出を引き続き P R します。
- ・町民体育祭において、デモンストラーションを行い、普及に努めます。



[トップ](#)

出前講座（いきいき100歳体操）

[2017年9月25日] ID:6992

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます



出前講座（いきいき100歳体操）

平成29年5月24日に 百間公民館で活動している 新若クラブに出前講座に伺いました。

内容は 「いきいき100歳体操」 です。

この体操は、誰にでもできて、簡単なものにも関わらず、確実に介護予防の効果があるために、全国的に広まってきているものです。

体操は6種類で、おもりをつけて行います。



最初に 宮代町の高齢化の現状について講義を行い、続いて、体操を行いました。



足を後ろに上げる体操です。

上げている足に おもりバンドが巻いてあります。

参加者の皆さんには「とてもいい運動になった」と好評でした。



おもりバンドの アップ写真です。

バンドの中に 200gのおもりを 5本まで入れることができます。

福祉作業所ひまわりの家で作成しています。

お問い合わせ

宮代町役場健康介護課

高齢者支援担当

電話：0480-34-

防災コミュニティ促進事業

町民生活課

企画趣旨

防災に関する自助、共助の取り組みを進めることで、地区内のコミュニケーションを円滑にし、各地区の防災力を高めていきます。また、周辺地区や消防団等との連携も強めていきます。

平成 29 年度 上半期の実施内容／工程実施状況【完了】

(1) 防災・防犯マスター講座の開催

- ・防災・防犯力の向上を目指し、全 6 回のうち、3 回の講座を実施しました。※自主防災組織リーダー養成講座（参加者 33 名）、防災講演会（参加者約 60 名）、防犯フィールドワーク（参加者 14 名）

(2) 自主防災活動に対する支援（組織の活動に対する経費補助）

自主防災組織に対して、地域における自主防災活動の実施に対する経費を支援しました。

- ※防災資機材（リヤカー、トランシーバー等）13 地区、防災コミュニティ拠点機能整備（テーブル等）5 地区、地区防災訓練（炊き出し訓練用材料費等）14 地区、防災研修（AED 講習会等）2 地区

(3) 地域防災訓練（須賀小学校）の開催準備

- ・10 月 15 日の開催に向け、対象地域（第 1 分団、第 2 分団）の消防団分団員及び自主防災会等から成る実行委員会を 3 回開催し、あわせて訓練対象地域の自主防災会に対して、地区説明会を開催しました。

(4) デジタル防災行政無線の整備

- ・防災行政無線デジタル化整備については、屋外拡声子局や戸別受信機といった放送設備の工事が完了しました。また、防災システムについては、テレ玉のデータ放送や facebook といった外部とのネットワークに接続したことで、防災に関する情報を様々な媒体を活用して提供する体制が整いました。
- ・簡易無線の運用ルールを整備したうえで、無線機を消防団に配布したことで、災害時に町や消防署と円滑な連携が取れる体制が構築されました。

主な成果目標（平成 28 年～平成 32 年）

○自主防災組織率 100% ⇒ 100% ○活動実績 90%以上（年間）⇒ 94% ○地域拠点整備への取組実績 10 地区（累計）⇒ 8 地区 ○防災・防犯マスター修了者 30 人以上（累計）⇒ 30 人

※平成 29 年 9 月 30 日現在

後期実行計画で示した工程

実施内容	実施主体	実施年度									
		H28		H29		H30		H31		H32	
		上	下	上	下	上	下	上	下	上	下
地区連絡会での情報交換、防災訓練や研修会の合同開催	自主防災会 町民生活課										
防災・防犯マスター講座の実施、宮代町安心安全まちづくり推進事業補助金による助成	町民生活課										
デジタル防災行政無線の整備	町民生活課										

平成 29 年度 下半期の実施予定

(1) 防災・防犯マスター講座の開催

- ・防災・防犯力の向上を目指し、上半期に引き続き講座を実施します。※「犯罪の発生傾向と対策について」、「命を守る予防対策」、「住まいの防犯対策」、「防犯パトロールについて」など

(2) 自主防災活動に対する支援（組織の活動に対する経費補助）

- ・上半期に引き続き、防災資機材、防災コミュニティ拠点（集会所等）機能整備、地区防災訓練、防災研修等の経費に対する支援を実施します。

(3) 地域防災訓練（須賀小学校）の開催

- ・10 月 15 日に消防団分団員及び自主防災会等から成る実行委員会を中心に地域防災訓練を開催します。※参加予定団体：自主防災会、消防署、消防団、災害時支援隊、陸上自衛隊等 76 団体

(4) デジタル防災行政無線の整備、防災関連団体との連携強化

- ・防災行政無線デジタル化整備に伴う防災システムが構築されたことから、災害に伴う情報を一元化し発信するための職員研修会を開催します。
- ・防災ポータルサイト（防災ホームページ）、登録制メール、テレ玉データ放送などを通じ、防災・防犯等に関する情報を発信するため、システムの運用を順次開始します。
- ・災害時の情報収集や防災行政無線の補完システムとして、消防団、自主防災組織にデジタル簡易無線を配備し連携を推進します。



[トップ](#) ▶ [暮らしの情報](#) ▶ [安心・安全](#) ▶ [防災](#) ▶ [その他防災](#) ▶

dボタンで情報確認！テレビ埼玉のデータ放送から宮代町の情報をご覧になれます

[2017年10月1日] ID:6843

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます



dボタンで情報確認！テレビ埼玉のデータ放送から宮代町の情報をご覧になれます

防災行政無線の整備に伴い、平成29年10月1日からテレビ埼玉（テレ玉）のデータ放送サービスで、宮代町が配信した災害情報をはじめ町からのお知らせやさまざまなイベント情報がご家庭のテレビで見られるようになりました。

データ放送では、簡単なリモコン操作で情報を取得することができますので、ぜひご活用ください。

※データ放送に対応していないテレビは除きます。

放送画面（イメージ）



主な情報内容

データ放送では、防災行政無線で放送した内容が確認できます。

1. 災害情報

避難情報、道路通行止め情報、断水や給水ポイント情報等

2. 町からのお知らせ

熱中症への注意喚起、光化学スモッグに対する注意喚起、不審者情報等

3. イベント情報

町民まつりや町民体育祭、桜市をはじめとするイベント関係の情報

データ放送を見るには・・・



1. テレビのチャンネルをテレ玉（地デジ3ch）にあわせる。

2. リモコンの「dボタン」を押す。

3. 「市町村からのお知らせ」を選択

4. 市町村の五十音から「ま行」を選択

- 5. 「宮代町からのお知らせ」を選択
 - 6. リモコンの「決定ボタン」を押す。
 - 7. 宮代町からの情報が確認できます。
- （データ放送の視聴は無料です。）

※テレビで地域設定をしている方は、3・4は省略されます。

防災行政無線で放送した内容は、データ放送のほかに、1. 防災ツイッター、2. フリーダイヤル（0120-384602）、3. 登録制メール（ブレインメール）で確認できます。

お問い合わせ

宮代町役場町民生活課
生活安全担当

電話：0480-34-
1111（代表）内線
276、277、278

ファックス：0480-
34-1093

電話番号のかけ間違いに
ご注意ください！――

 お問い合わせフォーム

町民生活課生活安全担
当

 [お知らせ](#)

 [話題](#)

 [計画](#)

 [ハザードマップ](#)

 [指定避難所](#)

 [交通災害共済](#)

 [交通安全](#)

 [交通指導員](#)

 [自動体外式除細動
器\(AED\)](#)

 [町営駐輪場](#)

 [防災](#)

 [防犯](#)

 [申請・届出](#)

 [消防団](#)

 [入札・契約](#)

 [統計情報](#)

ご意見をお聞かせください

このページは役に立ちましたか？

☐役に立った ☒どちらともいえない ☐役に立たなかった

市民、活動、地域資源の縁結び事業

町民生活課

企画趣旨

活動の創出や拡充に取り組みやすい支援策の創設と運用を進修館で行います。これにより、市民活動が活発に展開される風土を創り出します。

平成 29 年度 上半期の実施内容／工程実施状況【完了】

(1) まちづくりネットワーク「やりたいゾウ」登録者からの情報の収集

- ・窓口業務を通して、やりたいゾウ登録者から登録更新の際に市民活動に関する情報を収集しました。

(2) 収集した市民活動情報の整理・共有化

- ・市民活動の情報を 5 分類に整理し、進修館内の掲示板で公開しました。

(3) やりたいゾウ登録者・市民活動団体のマッチングの推進

- ・市民活動団体の要望に基づき、日本工業大学などの地域資源を活用した市民活動のマッチングを推進しました。

※日本工業大学と和戸自治会：「まちをアルバムにする」イベントで写真のスキャニングや地域住民へのヒアリングを実施。共栄大学とみやしろイルミネーション実行委員会：みやしろイルミネーションイベントに向けての企画開催。）

(4) やりたいゾウ登録者同士の情報交換・交流

- ・やりたいゾウ登録者同士の交流や活動のPRの場「進修館まつり（四季の丘まつり）」を3月10日の開催に向けて準備会を兼ねて情報交換会を行いました。

主な成果目標（平成 28 年～平成 32 年）

○マッチング件数 20 件（年間）⇒16 件 ※平成 29 年度 9 月 30 日現在

後期実行計画で示した工程

実施内容	実施主体	実施年度									
		H28		H29		H30		H31		H32	
		上	下	上	下	上	下	上	下	上	下
市民活動情報の収集と共有化	町民生活課 進修館										
市民活動のマッチング	町民生活課 進修館										

平成 29 年度 下半期の実施予定

(1) まちづくりネットワーク「やりたいゾウ」登録者からの情報の収集

- ・窓口業務を通して、やりたいゾウ登録者から市民活動に関する情報を収集します。

(2) 収集した市民活動情報の整理・共有化

- ・カテゴリー（情報の分類化）ごとに整理した情報を、進修館のホームページ等で公開します。

(3) やりたいゾウ登録者・市民活動団体のマッチングの推進

- ・市民活動団体の要望に基づき、やりたいゾウ登録者をはじめ、日本工業大学などの地域資源を活用した市民活動のマッチングを推進します。
- ・進修館で実施している講座等の受講団体等が、地域で活躍できるような支援の仕組みを検討します。

(4) やりたいゾウ登録者同士の情報交換・交流

- ・やりたいゾウ登録者同士の交流や活動のPRの場である「進修館まつり（四季の丘まつり）」を3月10日に開催します。また、開催にあたる準備会を登録者同士の情報交換の場として引き続き行います。

HOME

進修館について

事業内容

施設案内

ご利用のご案内

「やりたいゾウ」個人登録者一覧

[「やりたいゾウ」とは](#) | [「やりたいゾウ」への登録方法](#) | [「やりたいゾウ」登録者情報](#)

「やりたいゾウ」～個人登録者～

「やりたいゾウ」に登録されている個人の方々の一覧です。

※ 複数ページある場合は、下の数字ボタンを押すことでページ移動することができます。

1

[\[TOP\]](#) | [\[個人\]](#) | [\[団体\]](#) | [\[自治会\]](#)

個人登録者一覧

個人 塚村剛

やりたいゾウ

2017/08/02

[リトルヒーターグラススタジオ](#)では、地域の皆様にガラスの魅力を
知っていただけるように、教室の実施、オリジナルの器や、
照明等の注文制作など、ガラスの事なら何でも承ります。

個人 大串育代

やりたいゾウ

2017/07/27

和と洋の融合したタッセルアクセサリーを制作しています。

個人 KINOKO

やりたいゾウ

2017/07/26

ギターの弾き語り、シンガーソングライターとして
埼玉を中心に、都内のライブハウスや、路上などで活動中。
詳しくは、ブログ [「KINOKOの手のひらはびねす」](#) をご覧ください。

個人 沼沢美智子

やりたいゾウ

2017/07/23

大好きなあの歌をギターの生演奏で
歌ってみたり、引き語りしてみませんか？

個人 秋元幸子

やりたいゾウ

2015/05/04

日本茶・和紅茶の美味しい淹れ方を学びます。(2時間)
実際にお茶を淹れて、味わって頂きます。

個人 依田真紀

やりたいゾウ

2015/08/27

ワイヤーをくるくる曲げて、ねじって、編んで。
ワイヤーだからできる、いびつなかわいさ。
作品はFacebook [ワイヤークラフトkururu](#) のページをご覧ください。

個人 豊田百合子

やりたいゾウ

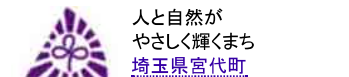
2015/07/27

気功体操や呼吸法・ヨガストレッチを用い、無理なく体の歪みやコリを
効果的にほぐしていきます。又、肉体と呼吸に意識を集中することで
精神をコントロールし、ストレス解消法を含めた心身の健康法です。

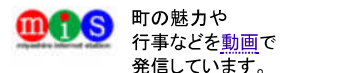
個人 八木橋孝雄



宮代町公式ホームページ



宮代町インターネット放送局



進修館リンク集

町内にある公共機関や宮代町に
関わる団体等のリンク集です。

上手に使う集会所事業

町民生活課

企画趣旨

集会所の利活用を後押しすることで、地域の中で顔の見える人と人のつながりを形成し、地域コミュニティの活性化を目指します。

平成 29 年度 上半期の実施内容／工程実施状況【完了】

(1) 集会所情報の共有化

- ・集会所の活用事例や先進的な取り組みについて、5 月の地区連絡会にて区長・自治会長に情報提供しました。（敬老会実施事例報告 35 件）

(2) 集会所の有効活用の促進

- ・やりたいゾウ登録者と市民活動団体とのマッチングに向け、区長・自治会長を対象とした地区連絡会等において利用促進をお願いしました。

(3) 集会所の拠点化に向けた支援

- ・地域コミュニティや防災の拠点として集会所が安全に使用できるように、修繕等のための支援として集会所整備事業補助金の交付を行いました。（3 集会所：1,161,000 円※エアコン取付工事、便所改修工事など）

主な成果目標（平成 28 年～平成 32 年）

○集会所等を活用したマッチング事業数 5 事業（年間） ⇒ 4 事業 ※平成 29 年度 9 月 30 日現在

後期実行計画で示した工程

実施内容	実施主体	実施年度									
		H28		H29		H30		H31		H32	
		上	下	上	下	上	下	上	下	上	下
地域情報共有化に向けた支援	町民生活課 進修館										
地域と市民団体の活動のマッチング	町民生活課 進修館										
集会所の拠点化に向けた支援	町民生活課										
市民団体や、やりたいゾウ登録者等を集会所へ派遣	町民生活課 進修館										

平成 29 年度 下半期の実施予定

(1) 集会所情報の共有化

- ・宮代町における集会所の活用事例や先進的な取り組み（地域敬老会・地域交流サロンなど）について、多くの地区・自治会で情報を共有できるよう、地区連絡会等の機会を通じて、区長・自治会長へ引き続き情報提供します。

(2) 集会所の有効活用の促進

- ・やりたいゾウ登録者と市民活動団体とのマッチングに向け、区長・自治会長を対象とした地区連絡会等において要望を引き続き確認し新しい展開を目指します。

(3) 集会所の拠点化に向けた支援

- ・地域コミュニティや防災の拠点として集会所が安全に使用できるように、修繕等のための支援として集会所整備事業補助金の交付を行います。

人権尊重平和事業

総務課、教育推進課

企画趣旨

市民が、まちづくりへの取り組みや普段の生活の中で、互いに人権を尊重しあい、真に豊かな安心して暮らしていける社会の実現を図るため、人権尊重をまちづくりの基本に据えて、行政と市民が一体となって取り組んでいきます。

平成 29 年度 上半期の実施内容／工程実施状況【完了】

(1) 人権教育研修会の実施

・正しい人権感覚を養うために地域住民や教職員を対象とした人権教育研修会を開催しました。

- ①宮代町人権教育推進協議会研修会 6月26日 進修館小ホール
- ②宮代町教職員人権教育研修会 8月21日 進修館小ホール

(2) 人権出前講座の実施

・出前講座のメニューとして「みんなで学ぼう身近な人権」を用意しました。

(3) 男女共同参画セミナーの実施

・男女共同参画社会推進会議において、セミナーの開催に向け、6月から検討を始めました。

(4) 平和パネル展、平和啓発事業の実施

戦争の悲惨さや平和の大切さをテーマにパネル展と朗読劇を開催しました。

- ①原爆パネル展 7月19日～8月12日 図書館ロビー
- ②朗読劇「私たちと原爆」 7月29日 図書館ホール 来場者：約130人

主な成果目標（平成 28 年～平成 32 年）

○住民意識調査のまちづくり満足度向上人権擁護、男女共同参画の取組み 40%

※平成 31 年度住民意識調査実施予定

後期実行計画で示した工程

実施内容	実施主体	実施年度									
		H28		H29		H30		H31		H32	
		上	下	上	下	上	下	上	下	上	下
人権教育研修会、出前講座の実施	総務課 教育推進課										
男女共同参画セミナーの実施	総務課										
平和パネル展、平和啓発事業の実施	総務課										

平成 29 年度 下半期の実施予定

(1) 人権教育研修会の実施

・正しい人権感覚を養うための研修会を引き続き開催していきます。

「宮代町人権問題合同研修会」 2月1日 進修館小ホール(予定)

(2) 人権出前講座の実施

・出前講座のメニュー「みんなで学ぼう身近な人権」について、依頼に応じて実施していきます。

(3) 男女共同参画セミナーの実施

・男女共同参画社会推進会議において、セミナーの開催に向け、引き続き検討し、開催します。

「(仮)主夫になってはじめてわかった主婦のこと」中村シュフ氏 1月20日 進修館小ホール(予定)



[トップ](#) ▶ [暮らしの情報](#) ▶ [文化・スポーツ・まちづくり](#) ▶ [人権](#) ▶

第24回朗読劇「私たちと原爆」を上演しました!!

[2017年8月2日] ID:6528

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます



朗読劇「私たちと原爆 ～わすれてはならないあの日～」

7月29日(土)に朗読劇「私たちと原爆 ～わすれてはならないあの日～」を上演しました。

この朗読劇では、小学校3年生から中学校3年生までの児童・生徒16人が、広島・長崎の原爆投下の日の人々の思いを、来場した多くの方々に語り伝えました。

参加した児童・生徒たちは、上演が終わった後、ホッとした表情で「初めて参加して、ドキドキしました」「朗読はとても難しかったけど、楽しくできました」「読んでみて、原爆の恐ろしさを知りました」「原爆のことを知ることができて良かった」と笑顔で話してくれました。

また、来場した方からは「私たちが忘れていた大事なものを思い出させていただきました」「感動しました。この記憶が風化しないよう、語り継がねばならないと思います」と感想をいただきました。



お問い合わせ

宮代町役場総務課人権・男女共同参画担当

電話: 0480-34-1111 (代表) 内線 210

ファックス: 0480-34-7820

電話番号のかけ間違いにご注意ください! ———

[お問い合わせフォーム](#)

総務課人権・男女共同参画担当

▶ [お知らせ](#)

▶ [町民相談・法律相談](#)

▶ [女性相談](#)

宮代型観光推進事業

産業観光課

企画趣旨

宮代町の立地特性、資源を活かした宮代型の観光事業を展開し、交流人口の増加、町内産業の活性化に結びつけていきます。個々の資源の魅力を多面的な視点から引き出し、組み合わせ、宮代町ならではの事業を展開していきます。

平成 29 年度 上半期の実施内容／工程実施状況【完了】

(1)新しい村グリーンツーリズム事業の実施（主なもの）	
・田植え体験の実施（5月～6月）	参加者 1,142 名
・稲刈り体験（9月）	参加者 39 名
・ラベンダー摘み取り体験（6月）	参加者 63 名
・ブルーベリー摘み取り体験（7月～8月）	参加者 375 名
・じゃがいも掘り体験（6月）	参加者 111 名
・畑で婚活（6月）	参加者 54 名
・ハーブ講座（6月）	参加者 15 名
・料理講座（5月、7月、9月）	参加者 30 名
・絵本で遊ぼう（4月、6月、8月）	参加者 21 名
(2)みやしろまるごと観光情報の発信	
・観光プログラムの主な実施主体から半年間の事業予定情報を収集し、「みやしろまるごと観光カレンダー」として観光情報紙「宮代い～ね!」第13号を発行しました。29,000部。（8月）	
※町外へポスティング 24,000部（配布先：春日部市、久喜市、幸手市、白岡市、杉戸町）	
(3)「つながり作りイベント和e輪e」の開催	
・平成30年2～3月の開催に向け、実行委員会の活動がスタートしました。	

主な成果目標（平成28年～平成32年）

○町外からの観光事業参加者数 年間10,000人⇒およそ2,400人 ※平成29年9月30日現在

後期実行計画で示した工程

実施内容	実施主体	実施年度									
		H28		H29		H30		H31		H32	
		上	下	上	下	上	下	上	下	上	下
新しい村グリーンツーリズム事業の実施	新しい村	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
観光プログラム実施主体連絡会の創設	産業観光課	■	■								
みやしろまるごと観光情報の発信	民間主体 産業観光課			■	■	■	■	■	■	■	■

平成 29 年度 下半期の実施予定

(1)新しい村グリーンツーリズム事業の実施（主なもの）	
・稲刈り体験の実施（10月）	
・野菜収穫体験の実施（10月～11月）	
・ハーブ講座、料理講座の実施（10月～3月）	
・畑で婚活の実施（10月、11月、1月、2月）	
(2)みやしろまるごと観光情報の発信	
・「宮代い～ね!」第14号を発行して、町内の観光情報を発信します。（3月）	
(3)「つながり作りイベント和e輪e」の開催	
・宮代の人、物、場所を観光資源として、町の内外からの集客を目指す「つながり作りイベント和e輪e」を開催します。（2月～3月）	
※今年度の新規メニュー（予定）	
「溶接体験／アイアン雑貨を作る」「ガラス細工の小物作り」「宮代の米を学ぶ」など	



[トップ](#)

宮代つながり作りイベント和e輪e説明会を実施します

[2017年7月18日] ID:6423

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます



一緒に探しませんか？宮代のあったらいいね！

和e輪eとは？

▼市民手作りの観光街づくり事業として、今年で4年目を迎える和e輪e。小さな町のあちこちに隠れているたくさんの魅力を見つけ出し、あったらいいね！の楽しい体験型講座（プログラム）を企画。町内外の人たちに楽しんでもらえ、ファンになってもらいたい、そんな思いを込めて開催し、これまでに延べ68のプログラムを実施し、町内外から1,049人の方に参加していただきました。

▼和e輪eで生まれたたくさんのチャレンジやつながり、そして「いいね！」の輪が、じわりじわりと力強く町を輝かせ、住んで良し、訪れて良しの町づくりにつながっていくことを願って活動しています。



↑昨年実施の「日本伝統和菓子・練り切り体験」

「大人の遠足・動物園の裏側体験」

◇説明会を開催します◇

和e輪eの目的と実施体制、講座プログラムの企画から実施の流れ、これまでの成果、今後の目標などわかりやすく説明します。ぜひご参加ください。

（対象）

■和e輪eの活動に興味を持っていただいている方

■仲間と一緒に楽しくまちづくりにチャレンジしたい方

（日時）

第1回目 日時 7月28日（金）19時～ 会場 進修館和室

第2回目 日時 7月29日（土）10時～ 会場 進修館食堂

※申込不要。いずれも内容は同じです。

お問い合わせ

宮代町役場産業観光課
商工観光担当

電話：0480-34-
1111（代表）内線
265、266

宮代町の魅力推進事業（里山体験事業）

町民生活課

企画趣旨

宮代町の美しい風景や緑豊かな環境を守り、さらに観光資源として活用することで「交流人口」さらには「宮代ファン」を増やしていきます。

平成 29 年度 上半期の実施内容／工程実施状況【完了】

五楽体験事業として、山崎山自然観察会やツリークライミング、ホテルの観察会といったイベント等を行いました。また、桜に親しみやすい環境を整えるため、ふるさと納税による寄付を募って桜の木の管理を実施しました。

(1) 里山五楽体験事業の実施

- 五楽体験事業（宮代の豊かな自然環境を体の五感全てを使って楽しんでもらう事業）を月 1 回程度で実施しました。

4 月 9 日／春の野草観察会「野草の天ぷらを味わい、春を食す」／参加者 33 名

5 月 21 日／山崎山ツリークライミング／参加者 30 名

6 月 17 日・18 日／ホテルの夕べ観賞会／参加者約 1,450 名

7 月 29 日／第 3 回宮代こども昆虫博士検定／参加者 16 名

8 月 5 日／スーパーナイトハイク「夜の生き物観察会」／参加者 114 名

9 月 18 日／秋の野草観察会 ※台風のため中止

(2) みやしろ桜応援団

- 宮代の美しい桜を多くの方に知っていただくため、宮代桜百選（桜の写真コンテスト）を実施し、22 名の応募者から 62 作品が集まりました。また、受賞作品を進修館内に掲示し宮代の美しい桜を PR しました。
- 桜イルミネーションの実施に向けて、みやしろイルミネーション実行委員会と調整を行いました。

主な成果目標（平成 28 年～平成 32 年）

○里山体験事業参加者数 1,000 人（年間）、町外参加者率 50%以上

⇒1,643 人（うち町外参加者 1,168 人 71.1%） ※平成 29 年 9 月 30 日現在

後期実行計画で示した工程

実施内容	実施主体	実施年度									
		H28		H29		H30		H31		H32	
		上	下	上	下	上	下	上	下	上	下
里山五楽体験事業	環境保全団体、町民生活課										
みやしろ桜応援団	環境保全団体、町民生活課										

平成 29 年度 下半期の実施予定

(1) 里山五楽体験事業の実施

下記の五楽体験事業を実施し、上半期に続いて宮代町の魅力の発信を行います。

10 月 28 日 トラスト祭

11 月 19 日 里山の恵みでつくろう

12 月 17 日 山崎山クラフトづくり

1 月 21 日 冬の自然観察会

2 月 18 日 冬の生き物を観察しよう

3 月 18 日 春の野草観察会

(2) みやしろ桜応援団

下記の事業を実施します。

- 「桜イルミネーション」桜の木オーナーや地域住民の協力のもと、笠原地区・商工会館横の桜 39 本に電飾を設置し、冬の街並みを明るくあたたかく演出します。
- 「ふるさとキレイ大会 in 宮代」町内の小中学生を主なメンバーとする「MIYASHIROエコ☆スターズ」と連携し、桜並木周辺の清掃活動を行います。



[トップ](#) ▶ [暮らしの情報](#) ▶ [文化・スポーツ・まちづくり](#) ▶ [宮代町の魅力推進事業（里山体験事業）](#) ▶

第3回 宮代こども昆虫博士検定を実施しました！

[2017年8月9日] ID:6601

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます



第3回宮代こども昆虫博士検定を実施しました

7月29日（土）、山崎山こどもエコクラブ主催のもと、第3回「宮代こども昆虫博士」検定を実施しました。

当日は天候に恵まれ、16名のこどもたちが参加してくれました。

新しい村の集会所で山崎山こどもエコクラブ代表八木橋さんの説明を聞いた後は、埼玉昆虫談話会の塘さんを先頭に、山崎山へ昆虫観察に出かけました。

地面や幹、葉っぱなど、山崎山には、小さな生き物たちの痕跡がたくさんあります。



観察後は、集会所に戻り、事前学習会を行いました。

昆虫たちの不思議な生態や謎など、非常に興味深い内容でした。

学習会後は、ついに、検定試験です。

写真を見て答える問題や、音を聞いて答える問題など、全25問。

みなさん満点を目指し、一生懸命に問題に向かいました。



検定試験後は、問題の解説です。

みなさん、昆虫について更なる知識を身につけました。

宮代町では、今回の検定のように、豊かな自然と触れ合えるイベントを行っています。

イベント情報は、町の広報誌やホームページをはじめ、環境推進担当のTwitter [@kankyomiyashiro](https://twitter.com/kankyomiyashiro) (別ウインドウで開く) でもお知らせしています。



お問い合わせ

宮代町役場町民生活課
環境推進担当

電話：0480-34-
1111（代表）内線
274、275

ファックス：0480-
34-1093

電話番号のかけ間違いに
ご注意ください！——

 お問い合わせフォーム

町民生活課環境推進担
当

▣ [お知らせ](#)

▣ [話題](#)

▣ [ISO14001](#)

▣ [各種計画について](#)

▣ [狂犬病予防事業](#)

▣ [原発事故による放射線の影響について](#)

▣ [浄化槽](#)

▣ [石綿（アスベスト）](#)

市民の活動をつなぐインターネット放送局

総務課

企画趣旨

宮代町内で行われているスポーツ活動や文化活動、学校行事、行政情報、議会情報、商業情報等を動画で発信します。これにより、町内の人には相互刺激、連携、新たな発見を促し、町外の人には町の魅力を知ってもらうことで活性化につなげることを目的とします。

平成 29 年度 上半期の実施内容／工程実施状況【一部未完了】

- (1) 町の出来事をお知らせする動画を配信(市民特派員による動画の制作・発信)**
- 町のイベントや地域の出来事などをユーチューブで配信しました。
 - ※子育てひろば「こどもの日」、どんぐりピアノを再生するためのチャリティーコンサート、ボランティアサンスフェア、こども議会、げんきっ子ハワイアンリトミック（告知）ほか
- (2) 見てもらうための動画の作成**
- 特派員のスキルアップ及び新たな特派員の獲得を目的としたデジカメ動画講座を 7 月 15 日、22 日、29 日の計 3 回開催しました。この講座の参加をきっかけに新たに 2 名の特派員を確保することができました。
- (3) 宮代町インターネット放送局の認知度を高める取り組み**
- インターネット放送局の活動周知の充実を図るため、5 月に公式ホームページを開設しました。既存のユーチューブマイチャンネルと連動し、ツイッターやフェイスブックを併設し、広く認知できるよう努めました。
 - 広報紙「月刊みやしろ」のコーナーや町ホームページ「話題」の記事に関連動画を案内するなど、他の広報媒体と連動した情報発信を行いました。

主な成果目標（平成 28 年～平成 32 年）

○視聴回数 25,000 回（年間）⇒ 10,833 回

○動画配信 50 本を維持（年間）⇒ 55 本

※平成 29 年度 9 月 30 日現在

後期実行計画で示した工程

実施内容	実施主体	実施年度									
		H28		H29		H30		H31		H32	
		上	下	上	下	上	下	上	下	上	下
特派員による動画の制作、ウェブサイトを通じた発信	総務課	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
新たな視聴者の獲得策の検討、実施(随時)	総務課	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
財源確保の取組みの検討	総務課	→	→								

コンテンツ: 情報サービスにおける
情報内容

ウェブサイト: ホームページのこと

平成 29 年度 下半期の実施予定

- (1) 町の出来事をお知らせする動画を配信(市民特派員などによる動画の制作・発信)**
- 町のイベントや地域の出来事、またイベントの告知動画などをユーチューブで配信します。
 - 地域の情報を充実させるため宮代高校などとの連携を検討します。
- (2) 見てもらうための動画の作成**
- 特派員のスキルアップ目的に、撮影編集講座及び情報セキュリティ講座を開催します。
- (3) 宮代町インターネット放送局の認知度を高める取り組み**
- インターネット放送局の認知度を高めるため、進修館等にモニター等を設置し目に見える P R 活動を行います。あわせて、自宅のパソコンやスマートフォンで視聴する方法を案内します。また、取材時にも放送局の P R を行い口コミによる視聴者拡大を目指します。

- トップページ
- 新着情報
- 事業概要
- 特派員紹介
- 特派員募集
- ブログ
- SNS
- お問い合わせ
- 宮代町総合計画



宮代町インターネット放送局は、埼玉県宮代町の魅力や行事などを動画で発信しています。

宮代町インターネット放送局は、宮代町の事業を受託して地域の魅力を発信しています。

- 1 宮代町インターネット放送局は、特定非営利活動法人MCAサポートセンターが、宮代町からの事業委託を受け、運営しているものです。
- 2 撮影から編集に至るまで、町民ボランティアの皆さんが『特派員』として参画し、宮代町の魅力を広く発信していくという、住民参加型の新しいスタイルを実現しています。
- 3 大学や各種団体など、地域との連携を積極的に行うことにより、共助による宮代町の情報発信に寄与しています。
- 4 町民向けの分かりやすい講座の開催や特派員のスキルアップ研修を実施しています。
- 5 各種お問い合わせは、『お問い合わせフォーム』をご活用ください。
- 6 宮代町インターネット放送局が、これまで公開してきた動画は、[こちらをクリックしていただくこと](#)でご覧いただけます。

最近の投稿

- 1 げんきっ子運動会と親子のふれあい
- 2 音楽活動を続けるということ
- 3 宮代町郷土資料館特別展「古墳時代の拠点集落～道仏遺跡～」
- 4 あそびの中で会得するもの
- 5 懐かしい風景 農に還る 宮代町で稲刈り体験

カテゴリー

カテゴリー

2017年11月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

企画趣旨

子育て新施設「宮代町子育てひろば」を拠点に子育ての輪を広げ、地域で子育てを応援する環境をつくります。宮代町の子育て環境を充実させ、町外からの子育て世代流入を図ります。

平成 29 年度 上半期の実施内容／工程実施状況【完了】

(1)子育て応援ウェブサイト「みやしろで育てよう」の運用	
・特集記事や子育てコラム、フェイスブックなどで、子育て情報やイベント情報を発信しました。 ※4月特集「五感を育てるお外遊び」7月特集「キッカケで広がる世界」 ※アクセス数 月平均 3,002 件	
(2)「みやしろで育てよう」の周知	
・子育てひろばの窓口にウェブサイトのチラシとポスターを設置したほか、広報みやしろ6月号に特集記事を掲載しました。また、子育てひろばのイベントでもウェブサイトのチラシを配布し周知を行いました。	
(3)子育ての輪を広げる取り組み	
・フェイスブックでみやしろのびのび子育て情報のグループを作成し、子育てに関する情報を発信しました。※登録者 42 名	
(4)利用者参加型イベントなどの各種イベント、市民団体などとの連携事業等の開催	
・子育てひろば利用者の声から企画が生まれ、利用者が講師となり、ボールペン字講座を行いました。 ※平成 29 年 9 月／参加者 10 名 ・三世代交流事業として「まこも馬づくり」をさわやかクラブ連合会とともに実施しました。 ※平成 29 年 7 月／参加者 26 名	

主な成果目標（平成 28 年～平成 32 年）

○子育てひろば利用者 25,000 人（年間）⇒ 18,287 人

○子育て支援センター2 か所利用者 10,000 人（年間）⇒ 3,582 人 ※平成 29 年度 9 月 30 日現在

後期実行計画で示した工程

実施内容	実施主体	実施年度									
		H28		H29		H30		H31		H32	
		上	下	上	下	上	下	上	下	上	下
子育て応援ウェブサイトの制作	福祉課	→									
子育て応援ウェブサイトの運用	福祉課	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
利用者参加型イベントなどの各種イベント、市民団体などとの連携事業、ボランティアの育成講座等の開催	福祉課	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

平成 29 年度 下半期の実施予定

(1)子育て応援ウェブサイト「みやしろで育てよう」の運用	
・特集記事や子育てコラム、フェイスブックなどで、子育て情報やイベント情報を発信します。 ※10月特集「宝物を見つけに行こう～里山あそび～」、1月特集「記事未定」	
(2)「みやしろで育てよう」の周知	
・子育てひろばイベント時のチラシ配布や公共施設にチラシを配置しウェブサイトの周知を行います。	
(3)子育ての輪を広げる取り組み	
・フェイスブックなどを活用し子育て世代のネットワークを作り、子育てひろばでの事業の企画などに関わることができる仕組みを作ります。	
(4)利用者参加型イベントなどの各種イベント、市民団体などとの連携事業等の開催	
・利用者が企画に参加するイベントや三世代交流事業を実施します。 ※門松づくり、紙トンボづくり、保育ボランティアの育成講座など	

こんな時どうする？

「助けて」って
言っちゃおう

～手助けが必要なとき～



注目のイベント

🎃 ハロウィンパーティー 🎃 (子育てひろば)



📍 子育てひろば
埼玉県南埼玉郡宮代町笠原1-4-1
📅 10月31日(火)10時30分から

げんきっ子 運動会



📍 げんきっ子
埼玉県南埼玉郡宮代町国納102-1
📅 10月28日(土)10時から

里山マルシェ～4つのお祭り 同時開催～



📍 新しい村
埼玉県南埼玉郡字山崎77
📅 10月28日(土)9時30分～

[注目のイベント一覧へ](#)

お知らせ

10月23日 特集vol.3 更新しました♪

日

New!

9月1日 埼玉県の緊急電話相談 平成29年10月から24時間365日で実施します

8月24日 3 (さん)キュー子育てチケット

8月10日 小松美貴子先生の食育コラムが始まります♪

7月24日 特集更新しました♪

[お知らせ一覧へ](#)

コラム



2017年10月20日
良い習慣をつくる

小松美貴子



2017年10月19日
「生活リズムと睡眠」～心身のすこやかな成長に大切です～

原嶋 朋子



2017年10月1日
とびっきりの笑顔に戻る方法

anacalcu

[コラム一覧へ](#)

特集

五感を育てる
お外遊び



宮代町はたくさんの自然があり、豊かな子育てができとても恵まれた場所です。視覚、聴覚、味覚、嗅覚、触覚、この五感を刺激することにより脳への回路が作られ、脳の発達につながります。大人にとっては何気ないことでも、子どもにとっては大冒険。さあ、外へ出かけてたくさんの経験をさせてあげましょう。どんなことが待っているかな？

みやしろ定住促進作戦

企画財政課

企画趣旨

町内の住宅団地内では高齢者だけの世帯や高齢者の独居世帯が増えるとともに、空き家、空き部屋も増加傾向にあります。こうした市街地の資源を活用して、子育て、介護が必要なUターン世代、交流イベントで獲得した「宮代ファン」を誘引し定住人口を増やしていきます。

平成 29 年度 上半期の実施内容／工程実施状況【完了】

(1) 移住者インタビューの見直し

- ・定住促進サイト「みやしろで暮らそっ」のインタビューの対象者を拡大し、町での様々な暮らし方を紹介しました。※サイト掲載物件を購入し転入した方だけでなく、賃貸物件に住みながら町への定住を検討している方や転入後に起業した方などに拡大 ※記事：「暮らシロ」「宮代暮らし」各 1 回

(2) みやしろ初めてツアーの実施

- ・町外からの転入希望者を対象として、町内の公共施設（教育施設・保育所・新しい村）や商業施設などを案内するツアーを実施しました。3 件（熊谷市・吉川市・さいたま市）
※平成 29 年度よりツアー対象施設に給食センターを追加。町の地産地消の取組みやアレルギー対応の説明のほか、給食の試食を行います。

(3) 横断的な情報発信

- ・ふるさと納税のお礼に町 P R チラシを同封し発送しました。また、その中でも、首都圏在住の方を対象に、「みやしろで暮らそっ」と町のイベント情報を紹介した定住促進チラシを制作し順次発送しました。併せて、町外から参加者が見込まれるイベントや県主催の利根地域地区合同の定住促進イベントなども活用し情報発信しました。※約 7,000 枚のチラシを町外へ発信

主な成果目標（平成 28 年～平成 32 年）

○サイトアクセス数 20 万件（年間） ⇒ 11.4 万件

○ツアー参加 20 件（年間） ⇒ 3 件

※平成 29 年度 9 月 30 日現在

後期実行計画で示した工程

実施内容	実施主体	実施年度									
		H28		H29		H30		H31		H32	
		上	下	上	下	上	下	上	下	上	下
定住促進サイト「みやしろで暮らそっ」の運営、バージョンアップ	サイト運営会社	→									
みやしろ初めてツアーの実施	企画財政課	→									
横断的な情報発信	サイト運営会社 企画財政課	→									

Uターン世代：子育てや親の介護などで故郷に戻ることを考え出す世代

平成 29 年度 下半期の実施予定

(1) 移住者インタビュー

- ・引き続き賃貸物件に住みながら町を気に入って住宅を購入した方や、都会から自然に癒しを求めて転入してきた方などにインタビューの対象を広げ、「みやしろで暮らそっ」の特集記事「暮らシロ」、「宮代暮らし」の中で紹介していきます。

(2) みやしろ初めてツアーの実施

- ・町外からの転入希望者を対象として、町内の公共施設などを案内するツアーを実施します。

(3) 横断的な情報発信

- ・ふるさと納税のお礼状に町 P R チラシと「みやしろで暮らそっ」チラシを同封し発送します。
 - ・町外から参加者が見込まれるイベントなどを活用し情報発信します。
- （里山マルシェ・みやしろイルミネーション・桜イルミネーション・和 e 輪 e など）

(4) 「みやしろで暮らそっ」のリニューアルの検討

- ・新たな記事とこれまで蓄積してきた記事との連動性を高めたサイト構成や、スマートフォンでの閲覧のしやすさ、3 駅を中心とした各エリアの住環境や住みやすさについての情報発信等について検討します。

みやしろで暮らそっ (<http://www.kuraso-miyashiro.com/>)

みやしろ初めてツアー

これから住む町♪どんな町♪住んでみたいなあ♪こんな町宮代

埼玉県宮代町では、**町内のお住まいをお探しの方向け**に町の特徴、魅力を感じてもらうとともに日常生活のイメージをつかんでもらうことで安心して引っ越ししていただけるよう**宮代町内巡り「みやしろ初めてツアー」**を開催しています。

ご興味のある方は、是非、ご参加下さい！



安心 町が案内するからわかりやすく安心！

あなたの「ここを見たい、知りたい」というリクエストがあれば、お申出ください。ツアーのコースは可能な限りご希望にお応えいたします。

発見 あなたの「見たい、知りたい」を発見できる！

町が運営するツアーだから、安心してご参加頂けます。町を知り尽くした役場職員がわかりやすく、丁寧にご案内致します。

学校給食調理コンクールの自由献立部門で賞を取った宮代町の給食をご試食していただけることになりました。
アレルギー対策やメニューの事など、お気軽にお尋ねください♪



子育て支援施設を案内してもらった...



地場産野菜などを皆でお買い物♪



のんびりお散歩 身近な自然



小学校 幼稚園 保育園

行きたい場所があればリクエスト可能よ♪



きになる物件・区画整理地を見学

実際のツアーのくわしい様子はこちら♪ >>

(<http://kuraso-miyashiro.cocolog-nifty.com/blog/cat69066572/index.html>)

twitterやfacebookでも情報発信中(^^♪見てね >>  (<https://twitter.com/kurasomiyashiro>) 

(<https://www.facebook.com/kurasomiyashiro/>)

次回の「みやしろ初めてツアー」のご案内

開催日時	2017年 毎月 平日随時募集 (ご希望の日をご相談下さい！) ※業務の都合によりご希望に添えない場合がありますが、ご相談のうえ出来る限り対応します。 10時集合（雨天実施）～12：00終了予定
ツアー行程 (予定)	宮代町役場正面駐車場（10：00）→ご希望の物件近くの公共施設をご案内（10:10～12:00） ※例えば、図書館、新しい村、笠原小学校、みやしろ保育園、道仏土地区画整理地など ※外観のみ見学の施設もあります。
募集人数	各回 1 世帯
参加費用	無料（宮代町役場までの交通費は各自のご負担となります）
参加条件	宮代町外にお住まいで、お住まいをお探しの方
お申込み	宮代町役場 企画財政課 政策担当まで TEL. 0480-34-1111



暮らし・楽し・みやしろ人



暮らししろ

清潔感のある文化的な街

塚村 剛・香織

ガラス工芸作家 東京都出身
2015年に移住



10年程前、初めて東武動物公園を訪れた際
進修館や笠原小学校など変わった建築物を目にしました。

しかもそれらが公共の施設であるということ。
面白い街だなあと興味をもちました。

宮代ファーマーズタウン推進事業

産業観光課

企画趣旨

市民農園やガーデニングの観光資源化を進め、町民はもとより町外からも農に親しむ人口を増やすことで、地域経済の活性化に結びつけるとともに、遊休農地の解消を狙います。

平成 29 年度 上半期の実施内容／工程実施状況【一部未完了】

- (1) 認定市民農園開設支援
- 市民農園の補助制度の周知を農業委員や農地利用最適化推進委員に図るとともに農家組合長会議等でのPRを行いました。
- (2) 既設認定市民農園運営支援
- 市民農園利用希望者からの問合せ等があった場合、NPO法人「菜の国みやしろ」及び「新しい村」を紹介しました。(紹介件数2件)
 - 昨年に引き続き、町ホームページに認定市民農園「宮代西原ふるさと農園」の空き情報（農園の場所、区画数、区画面積、年間利用料金、連絡先等）を掲載しました。
※市民農園區画数42区画、利用区画16区画（利用率38%）
- (3) 市民農園応援フェアの開催
- 市民農園での作物作りを応援するために、新しい村において、「苗物フェア」を開催し季節に応じた野菜苗の販売や必要な資材等の販売を対面販売で行い、農作業のアドバイスも行いました。併せて、認定市民農園のPRを行いました。
- (4) 市民農業大学への支援
- 運営主体であるNPO法人「菜の国みやしろ」と当面の取組み方法について調整を行いつつ、市民農業大学に替わる取組みについて検討しました。

主な成果目標（平成28年～平成32年）

○認定市民農園利用率80% ⇒ 38% ※平成29年9月30日現在

後期実行計画で示した工程

実施内容	実施主体	実施年度									
		H28		H29		H30		H31		H32	
		上	下	上	下	上	下	上	下	上	下
認定市民農園開設支援	産業観光課										
既存認定市民農園の運営支援	産業観光課										
応援フェアの開催	新しい村										
市民農業大学事業への支援	産業観光課										

ファーマーズタウン:市民農園やガーデニングなどで土に親しめるまち

平成 29 年度 下半期の実施予定

- (1) 認定市民農園開設支援
- 市民農園の補助制度の周知を農業委員や農地利用最適化推進委員に図るとともに農家組合長会議等でのPRを行います。
- (2) 市民農園応援フェアの開催
- 市民農園での作物作りを応援するために、新しい村において、「苗物フェア」を開催し季節に応じた野菜苗の販売や必要な資材等の販売を対面販売で行い、農作業のアドバイスも行います。併せて、認定市民農園のPRを行います。
- (3) 認定市民農園「宮代西原ふるさと農園」の今後の管理運営についての検討
- 平成30年3月にNPO法人「菜の国みやしろ」は、高齢化等により解散が予定され、市民農園の管理が出来なくなるため、新たな運営主体の検討、調整作業を行います。



[トップ](#) ▶ [行政情報](#) ▶ [農業](#) ▶ [市民農園](#) ▶

市民農園の新規入園者の募集

[2017年4月20日] ID:4911

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます



新規入園者募集



宮代町西原ふるさと市民農園では、現在、新規入園者を募集しています。

場所 西原地区（旧いきがい活動センター西側）

募集区画 16区画（1区画面積30平方メートル）定員になり次第終了

設備 トイレ・ハウス・提携駐車場・基本農具（鋤、鎌等数量限定）、管理機

指導者 土日祝日（9時～12時）は指導者が市民農園に常駐。

年会費 10,800円（1年間4月から翌年3月まで）

問い合わせ 菜の国みやしろ（野口）090-7208-6189

お問い合わせ

宮代町役場産業観光課
農業振興担当

電話：0480-34-
1111（代表）内線
262、263

ファックス：0480-
34-1093

電話番号のかけ間違いに
ご注意ください！——

[お問い合わせフォーム](#)

産業観光課農業振興担
当

▶ [お知らせ](#)

▶ [話題](#)

▶ [宮代町農業委員会](#)

▶ [補助金](#)

道仏土地区画整理周辺整備事業

まちづくり建設課

企画趣旨

新たな流入人口の受け皿となる市街地として整備されている道仏土地区画整理地を中心とし周辺道路等を含む事業として整備を行います。なお、各都市計画道路は、道仏土地区画整理地にアクセスし住宅地としての機能を高めるだけでなく、周辺市街地間のアクセスや駅間のネットワークを構成する重要な路線となります。

平成 29 年度 上半期の実施内容／工程実施状況【一部未完了】

(1) 土地区画整理事業

- ・今年度上半期は、事業計画第 8 回変更認可申請をし、資金計画・前後地籍・期間の変更を行いました。
- ・換地処分通知の作成、公共用地消滅帰属図書の作成を行いました。
- ・保留地台帳の整理、国土調査法第 19 条第 5 項申請図書、登記関係図書作成を行いました。

(2) (都) 春日部久喜線(町道第 12 号線)

- ・2 件 18.45 ㎡の用地買収を行い、取得率は 70.78%となりました。

主な成果目標（平成 28 年～平成 32 年）

○宅地の利用開始 100% ⇒ 100%（平成 28 年度達成済）

後期実行計画で示した工程

実施内容	実施主体	実施年度									
		H28		H29		H30		H31		H32	
		上	下	上	下	上	下	上	下	上	下
土地区画整理事業	組合	→									
(都) 春日部久喜線(町道第 12 号線)	まちづくり建設課	→									
(都) 宮代通り線		→									
(都) 新橋通り線	埼玉県	→									
姫宮落川沿い道路拡幅工事(区画整理関連)	まちづくり建設課							→			
公園整備 2 か所		→									
上下水道管の布設替え		→									

平成 29 年度 下半期の実施予定

(1) 土地区画整理事業

- ・換地計画申請を行い、認可を受けた後、換地処分通知を関係権利者あて発送、全地権者に到達したことを確認後、換地処分公告を行い登記簿の表題部の書き換え及び保留地の登記簿作成を行います。
- ・公共施設管理引継図書作成を行います。

(2) (都) 春日部久喜線(町道第 12 号線)

- ・用地買収に係る交渉を継続して行うと共に地盤改良工事を実施します。

東武動物公園駅西口周辺整備事業

まちづくり建設課

企画趣旨

東武動物公園駅西口地区では、東武鉄道杉戸工場跡地の土地利用転換にあわせて、土地区画整理事業を実施するとともに、東武動物公園駅西口駅前通り線や中央通り線を整備し、商業の活性化による中心市街地の魅力向上を図ります。

平成 29 年度 上半期の実施内容／工程実施状況【一部未完了】

- (1) (都) 中央通り線(町道第 91 号線) 整備
- ・用地買収に係る交渉を行いました。(継続中)
 - ・(都) 中央通り線整備工事(無電柱化工事) の設計を行いました。
- (2) (都) 東武動物公園駅西口通り線整備
- ・(都) 中央通り線と県道春日部久喜線の交差点改良で対象となる権利者と合意形成を図り、測量と物件調査を行いました。また、設計に係る関係機関協議を行いました。(継続中)

主な成果目標(平成 28 年～平成 32 年)

○住民意識調査のまちづくり満足度向上: 「市街地」について 60%

※平成 31 年度住民意識調査実施予定

後期実行計画で示した工程

実施内容	実施主体	実施年度									
		H28		H29		H30		H31		H32	
		上	下	上	下	上	下	上	下	上	下
都市計画道路中央通り線の整備	まちづくり建設課	→									
都市計画道路東武動物公園駅西口通り線の整備	まちづくり建設課	→									

平成 29 年度 下半期の実施予定

- (1) (都) 中央通り線(町道第 91 号線) 整備
- ・用地買収に係る交渉を継続して行います。
 - ・歩道内埋設物や舗装等の整備工事の発注を行います。
- (2) (都) 東武動物公園駅西口通り線整備
- ・(都) 中央通り線と県道春日部久喜線の交差点改良に必要となる権利者の合意形成を図り、設計に係る関係機関協議を行い、平成 31 年度末に完了を目途として事業を進めます。

東武動物公園駅東口周辺整備事業

まちづくり建設課

企画趣旨

東武動物公園駅東口地区では、地元協議会が主体となって整備エリアや整備手法等の検討を進め、駅前広場の整備や東武動物公園駅東口通り線沿線の商店街の活性化による中心市街地の魅力向上を図ります。また、検討に当たっては、埼玉県（杉戸県土整備事務所）及び杉戸町と連携・協力し、一体的なまちづくりを目指します。

平成 29 年度 上半期の実施内容／工程実施状況【完了】

(1) 事業認可の取得

- 駅前広場整備のための関係機関協議を進め、事業認可を取得しました。（平成 29 年 8 月 4 日）

(2) 権利者の事業に対する合意形成

- 合意形成に向けて協議会を開催しました。（平成 29 年 7 月 29 日）
- 物件調査を引き続き実施し、今年度事業予定箇所については個別の説明を行いました。

主な成果目標（平成 28 年～平成 32 年）

○住民意識調査のまちづくり満足度向上：「市街地」について 60%

※平成 31 年度住民意識調査実施予定

後期実行計画で示した工程

実施内容	実施主体	実施年度									
		H28		H29		H30		H31		H32	
		上	下	上	下	上	下	上	下	上	下
協議会の開催（用地物件補償・事業手法等の検討）	地元協議会	→									
協議会への参加（権利者の事業に対する合意形成）	まちづくり建設課	→									
事業認可に必要となる調査設計の実施	まちづくり建設課	→									
事業認可手続き	まちづくり建設課				→						
事業実施（用地物件補償）	まちづくり建設課					→	→	→	→	→	→

※平成 33 年度から整備実施

平成 29 年度 下半期の実施予定

(1) 事業協力

- 駅前広場整備のため、杉戸町と事業協力についての負担協定を締結します。

(2) 権利者の事業に対する合意形成

- 合意形成に向けて協議会を開催します。
- 物件調査を引き続き実施し、調査結果がまとまり次第、物件調査の結果等について個別の事業説明を随時行います。

まちなか起業創業支援事業

産業観光課

企画趣旨

宮代マルシェ（市場）を定期開催し、町内外から起業を志す人材を呼び込みます。合わせて、マルシェの独立したウェブサイト構築し、出店者の募集とマルシェ開催の告知を行います。

平成 29 年度 上半期の実施内容／工程実施状況【完了】

(1) 宮代マルシェの実施（雨天中止）	
・ 9 月 17 日（日）18 日（月・祝）の両日、進修館及び周辺広場において、宮代トウブコフェスティバルを開催すべく、実行委員会を開催し準備を行いました。しかし、台風 18 号の接近、通過のため中止としました。	
(2) 制度のPRウェブサイトの開設	
・ 起業支援ウェブサイト「宮代で働こっ」に特集記事「みやしろで働く人」、貸店舗情報、トウブコフェスティバルなどのマルシェ情報を掲載し、サイトの充実を図りました。	
※アクセス数 4 月～7 月：10,586 件（月平均アクセス数 2,646 件）	
(3) 起業支援・空き店舗対策新制度の実施	
・ 宮代町空き店舗改修費補助金制度の一部を見直し、賃借料も補助対象とする改正を行いました。	
※相談、問合せ カラオケ喫茶店、中華料理店など 5 件	

主な成果目標（平成 28 年～平成 32 年）

○起業創業支援事業による町内での起業 10 件⇒ 2 件 ※平成 29 年 9 月 30 日現在

後期実行計画で示した工程

実施内容	実施主体	実施年度									
		H28		H29		H30		H31		H32	
		上	下	上	下	上	下	上	下	上	下
宮代マルシェの開催	産業観光課、 マルシェ実行委員会	→									
町融資制度の見直し （開店支援制度の構築）	産業観光課 商工会	→									
制度のPR、ウェブサイトの開設	産業観光課 商工会		→								
起業支援・空き店舗対策 新制度の実施	産業観光課 商工会	→									

平成 29 年度 下半期の実施予定

(1) 宮代マルシェの開催	
・ 10 月 28 日（土）に、新しい村を会場とする里山マルシェを開催します。	
・ 平成 30 年 3 月に進修館及び周辺広場を会場とする宮代マルシェを開催する予定です。	
(2) 起業支援・空き店舗対策	
・ 起業支援ウェブサイト「宮代で働こっ」等を活用して「宮代町空き店舗活用補助金」の利用促進に努めます。	



Google™ カスタム検索

検索

ホーム

宮代町トップページ

暮らしの情報

暮らしの案内や手続きなど

行政情報

町の概要や取り組みなど

施設情報

施設の位置、案内など

観光・イベント

観光・歴史・イベントなど

事業者の方へ

入札、企業支援など

[トップ](#)

竹でケン玉を作ろう！

[2017年8月21日] ID:6719

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます

[ツイート](#)

[ツイート](#)

宮代トウブコフェスティバルvol.3今秋開催！

9月17日（日）9月18日（月・祝）に行われる宮代トウブコフェスティバル！みんなで作った竹のケン玉が、トウブコフェスティバルの竹ケン玉ツリーとして会場を飾ります。トウブコフェスティバルに向けて、みんなで竹のケン玉を作ろう！自分で作ったケン玉は、トウブコフェスティバル2日目に持ち帰れるよ♪ぜひご参加ください。

[宮代トウブコフェスティバル](#)

◆夏休みのワークショップを開催します◆

日時：8月17日（木）9時30分～12時 雨天決行

場所：進修館・四季の丘ひろば

内容：竹でケン玉作り

費用：無料

対象：小学生以上 ※申込不要。当日会場にお越しください。



お問い合わせ

宮代町役場産業観光課
商工観光担当

電話：0480-34-

障がい者の雇用創出事業

福祉課

企画趣旨

農業や商工業など様々な分野で障がい者の雇用創出に取り組み、障がい者がいきいきと働けることができる宮代型（地域循環型）産業を創出していきます。

平成 29 年度 上半期の実施内容／工程実施状況【完了】

(1) 障がい者雇用の普及啓発、就労相談

- 障がいのある方の就労相談においては、専門の相談機関である埼玉北障害者就業・生活支援センター等を通じて、相談者の就労を図りました。※相談件数 201 件、就労者数 4 人

(2) 障がい者就労施設等の業務確保支援

- 平成 29 年度における障がい者就労施設等からの物品等の調達方針及び調達実績を公表しました。
- 障がい者就労施設発注可能一覧表を作成し、庁内に周知しました。
- 障がい者就労施設等が運営する福祉の店を週 3 回、2 団体による運営により庁舎内に設置し、物品販売等の促進を図りました。

出店日	出店団体
月曜日・金曜日	あかりワークス姫宮
火曜日	アバンティ

主な成果目標（平成 28 年～平成 32 年）

- 障害者就業・生活支援センター等を通じての一般就労者 15 人⇒ 8 人

※平成 29 年度 9 月 30 日現在

- 障害者優先調達推進法による町発注額 3,000 千円を維持（年間）

※平成 29 年度末に集計

後期実行計画で示した工程

実施内容	実施主体	実施年度									
		H28		H29		H30		H31		H32	
		上	下	上	下	上	下	上	下	上	下
障がい者雇用の普及啓発、就労相談	福祉課	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
障がい者就労施設等の業務確保支援	福祉課	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

平成 29 年度 下半期の実施予定

(1) 障がい者雇用の普及啓発、就労相談

- 障がいのある方の就労相談においては、専門の相談機関である埼玉北障害者就業・生活支援センター等を通じて相談者の就労を図ります。

(2) 障がい者就労施設等の業務確保支援

- 障がい者就労施設等からの調達可能物品等を庁内に周知します。
- 障がい者就労施設等が運営する福祉の店を庁舎内に設置します。
- 障害者週間に展示会を実施し、庁内の団体の活動を紹介します。

平成 29 年度宮代町における障がい者就労施設等からの物品等の調達方針

この調達方針は、国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律第 9 条の規定に基づき、障がい者就労施設等からの物品等の調達の推進を図るため、下記のとおり定めるものである。

1. 適用範囲

この調達方針の適用範囲は、町長部局、議会事務局、選挙管理委員会事務局、監査委員事務局、公平委員会、固定資産評価審査委員会、農業委員会事務局、教育委員会事務局とする。

2. 調達物品等及び目標

障がい者就労施設等から調達する物品等及びその目標は次のとおりとする。

物品（事務用品、生活用品、食品、その他）	1 6 0 千円
役務（清掃、印刷、その他）	3, 4 6 7 千円

3. 調達の推進

宮代町契約規則（昭和 55 年宮代町規則第 12 号）第 18 条に定める額を超えない場合については、予算の適切な執行に配慮しつつ、優先的に障がい者就労施設等から物品等を調達するよう努めるものとする。

なお、障がい者就労施設等が供給できる物品等については、施設等からの情報をもとに福祉課から各所属所に対して情報提供を行うものとする。

4. 調達実績の公表

調達実績については、翌年度の 5 月末までに概要を取りまとめ、町ホームページ等により公表する。

5. 調達方針に関する担当窓口

- （1）企画財政課 調達方針及び調達実績の作成・公表、調達推進等に関すること。
- （2）福祉課 障がい者就労施設等との連絡調整及び調達可能な物品等の情報収集等に関すること。

宮代町農業の6次化推進事業

産業観光課

企画趣旨

農産物の生産・加工・販売の一体（垂直統合）化を進め、農業生産関連所得を増やし農業への若者参入や定住促進を目指します。また、商業との連携も図り地域経済の活性化を図ります。

平成29年度 上半期の実施内容／工程実施状況【完了】

- (1) 明日の農業担い手支援 6次化推進事業補助金制度のPR**
- 「宮代町農業振興事業の概要」を活用し、「明日の農業担い手支援 6次化推進事業補助金制度」について、農家組合長会議や生産者組合の会議等を通じて補助金制度の周知を行いました。
 - 上半期では、加工施設の改修事業についての相談が1件ありました。今後、補助金の交付申請等の手続を進めていき、事業の着工に向けた支援を行っていきます。
- (2) 町の6次化商品のPR支援**
- 宮代産「紫いも」の加工品等の商品力アップのため、「パルパルクン」シールを活用して販売促進の支援を行いました。また、初夏に収穫される紫野菜を消費者に知ってもらうために、ホテルの夕べ（6月17日開催）のイベント時に「紫じゃがいものヴィシソワーズ(冷製スープ)」を販売し、「紫たまねぎのカナッペ」の試食も行いました。
- (3) 商品開発支援**
- 《宮代町の地域伝統食の発掘》**
- 昨年度に引き続き、春夏のみやしろの食文化として地域に愛されてきた食材や調理方法などの調査を実施し、3件の農家から聞き取りを行いました。
- 《新たな6次化商品の開発》**
- 新たな6次化商品の調査・研究をするため、「第1回宮代町6次化戦略研究会」を9月21日に開催しました。10名の農業者・商業者が参加し、紫野菜・果実などの町内産農産物の活用・商品開発に向けた意見交換を実施しました。

主な成果目標（平成28年～平成32年）

〇6次化製品新規10品目⇒2品目 ※平成29年9月30日現在

後期実行計画で示した工程

実施内容	実施主体	実施年度									
		H28		H29		H30		H31		H32	
		上	下	上	下	上	下	上	下	上	下
明日の農業担い手支援 6次化推進事業補助金制度のPR	産業観光課										
町の6次化商品のPR支援、商品開発支援、「紫いも」の年間供給体制の支援	産業観光課										

農業の6次化：農業者が自ら作った作物を原材料として加工・製造、流通・販売までを行う取り組み

平成29年度 下半期の実施予定

- (1) (1) 明日の農業担い手支援 6次化推進事業補助金制度のPR**
- 既に加工施設の改修事業の実施に向けて相談のあった農家（1名）に対し、事業計画の作成や申請手続等の支援を行います。
- (2) 町の6次化商品のPR支援**
- 10月28日に新しい村で「紫マルシェ」を開催し、紫色の農産物（野菜及び果実）を素材とした加工品のPR・販売支援を行います。
- (3) 商品開発支援**
- 《宮代町の地域伝統食の発掘》**
- 秋冬野菜を使ったみやしろの伝統食の掘り起こし調査を引き続き実施。調査の成果を「宮代町郷土の味調査報告書」としてまとめ、今後の伝統食による6次化推進のための基礎資料として活用します。
- 《新たな6次化商品の開発》**
- 新たな6次化商品の調査・研究をするため、「第2回宮代町6次化戦略研究会 伝統食のメニュー勉強会」を10月11日に、「第3回宮代町6次化戦略研究会 旧加藤家での試食会」を11月19日に開催します。実際に伝統食や紫色の農産物のメニューを試食し、農商連携による6次化推進を模索します。



[トップ](#) [行政情報](#) [農業](#) [農業の6次産業化](#)

町のイメージカラー「紫」野菜の消費拡大を目指して一紫じゃがいもー

[2017年6月15日] ID:6102

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます



宮代町のイメージカラー「紫」。その紫にちなんで、町内の農家の皆さんはさまざまな紫野菜を栽培しています。

紫じゃがいもが旬の時期を迎えます

6月から収穫期を迎えるのが「紫じゃがいも」です。紫じゃがいもは「シャドーQueen」という品種で、外見は黒に近い紫色ですが、割ってみると中は鮮やかな紫色。「眼によい」とされるアントシアニン色素を豊富に含んでいます。

紫じゃがいもの栽培に取り組んでいるのは、宮代町新規就農者組合「あぐりねっとみやしろ」の蛭田さん。西原地内の畑で微生物を利用した土作りをして、農薬を使わずに紫じゃがいもを栽培しています。その他にも、紫いも（紫さつまいも）、紫白菜、紫水菜の作付を予定しています。

紫じゃがいもの冷製ポタージュスープを販売します

6月17日（土）に「新しい村」で開催されるホタルの夕べ・鑑賞会。その会場にある農産物直売所「新しい村 森の市場結」で当日17時頃から、「あぐりねっとみやしろ」が「シャドーQueenのヴィシソワーズ（紫じゃがいもの冷製ポタージュスープ）」を50食限定で販売します（1杯100円）。

また、この季節においしい、もう一つの紫野菜、紫たまねぎを使った「カナッペ」は無料でご試食いただけます。

いずれも町内にお住まいの美食プロデューサーで、町の農業6次化の推進にご協力いただいている小松美貴子さんが監修されたものです。

ホタルの夕べ・鑑賞会にあわせて「森の市場結」では営業時間を19時30分まで延長し、皆さまのお越しをお待ちしております。宮代町の農家の皆さんが栽培した新鮮な野菜をぜひご賞味ください。



シャドーQueenのヴィシソワーズ（イメージ）



新しい村森の市場結 売り場

明日の農業担い手支援事業

産業観光課

企画趣旨

高齢化や後継者不足による耕作放棄地の増加を防ぎ、町の農村環境の維持を図るため、新規就農者を確保、育成していきます。

平成 29 年度 上半期の実施内容／工程実施状況【完了】

(1) 農業担い手塾での塾生の受入れと自立支援、里親制度の充実

●新規就農者の育成・確保

- 宮代町農業担い手塾において、5 期生（1 名）が本年 8 月末で 3 年間の研修を修了し、9 月に開催された町農業委員会において新規就農者として認定され、10 月 1 日から独立営農を開始しました。なお、独立営農に際しては、地域の農家からの支援・協力により、77 a の経営農地を確保しました。
- 新たな里親農家として、生産基盤支援農家（トラクター等の貸出）を 1 件確保しました。

(2) 「農」のあるまちづくり担い手支援対策事業補助金の交付

●担い手・大規模農家の確保・支援

- 「農業振興事業の概要（29 年度版）」を活用し、担い手農家に対して補助金の活用を提案した結果、上期では補助申請が 1 件ありました。

※申請内容 園芸・果樹生産担い手支援事業 農業機械（野菜包装机一式）の導入

※補助金交付決定額 1,802,790 円

(3) 町外の大規模農家や農業法人等による町内への農業参入の促進

●民間企業・法人等による町内への農業参入の積極的誘致

- 昨年度に具体的な農業参入のための事業計画の提案のあった大手民間企業（1 社）による農業参入に向けて、参入候補地域の農地所有者及び耕作者を対象に「農地の貸付意向に関する調査」を実施しました。調査結果を踏まえた地元説明会を経て、関係者（農地所有者）の協力により、大字東条原及び大字須賀地内の農地（2.3ha）を参入農地として確保することができました。
- 農地の貸借においては、農地中間管理事業を活用した貸借手続を行い、9 月開催の町農業委員会において農地利用配分計画案（29 年 12 月 1 日付転貸開始）が承認されました。

主な成果目標（平成 28 年～平成 32 年）

○新規就農者の確保 5 人⇒ 4 人 ※平成 29 年 9 月 30 日現在

後期実行計画で示した工程

実施内容	実施主体	実施年度									
		H28		H29		H30		H31		H32	
		上	下	上	下	上	下	上	下	上	下
新規就農者の育成、確保	産業観光課										
担い手・大規模農家の確保、支援	産業観光課										
民間企業・法人等による町内への農業参入の積極的誘致	産業観光課										

平成 29 年度 下半期の実施予定

(1) 農業担い手塾での塾生の受入れと自立支援、里親制度の充実

- 30 年春からの実践研修開始を見据えた新たな塾生（7 期生）の募集を行います。
- 新たな里親農家を確保・登録します。

(2) 「農」のあるまちづくり担い手支援対策事業補助金の交付

- 「農業振興事業の概要（29 年度版）」を活用し、担い手農家に対して補助金の活用を提案するとともに、補助制度の活用について相談のあった農家への申請手続等の支援を行います。

(3) 町外の大規模農家や農業法人等による町内への農業参入の促進

- 新たに町内での営農を開始する民間企業に対し、宮代町人・農地プランの担い手経営体に位置づけていくとともに、引き続き、町内の遊休農地等の利活用へ誘導していきます。



[トップ](#)

宮代町農業担い手塾研修修了認定（第5期生）

[2017年8月16日] ID:6718

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます

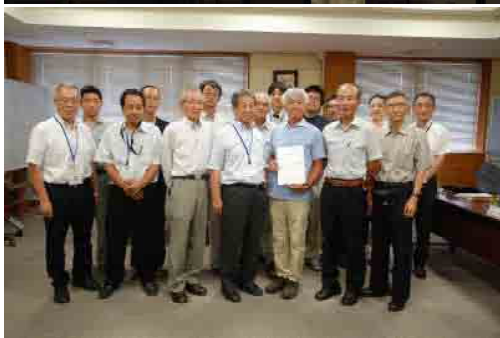
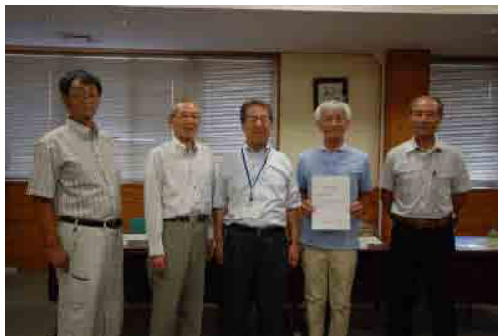
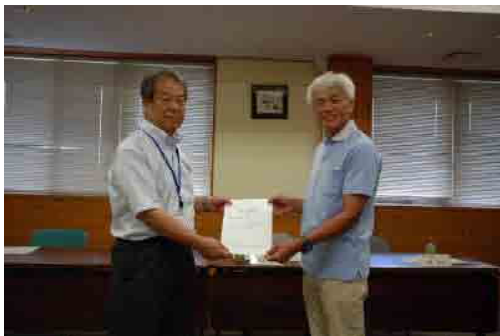


宮代町農業担い手塾研修修了認定（第5期生）

宮代町農業担い手塾では、自らの強い意志で農業を「職業」として選択し、宮代町内で就農を希望する方を塾生として受け入れています。担い手塾では、栽培技術や農業経営の実践研修を通じ、将来の宮代農業を担う農業経営者として早期に自立・定着するための支援を行っています。

この度、農業担い手塾第5期生の菅井英樹さん（和戸）が、3年間の実践研修での取組姿勢が評価され、研修修了認定が承認されました。平成26年9月から第5期生として農業担い手塾に入塾した菅井さんは、大字須賀地内において、里親農家の方や地域の皆さんからの温かい支援をいただきながら、独立就農を目指して実践研修に取り組んできました。今年8月末をもって研修期間が満了するのに伴い、8月8日（火）に開催された「宮代町新規就農者支援委員会」において、榎本町長から修了認定書が授与されました。主に露地野菜の栽培を中心に取り組んできた菅井さんに対し、榎本町長からは「これまでの菅井さんの前向きで人一倍研究熱心な取組姿勢や、地域の皆さんから厚い信頼と期待を寄せられていることから、町として非常に頼もしく思います。これからも目標実現のために、さらなるステップアップを目指して頑張ってください」との激励の言葉が贈られました。

菅井さんは、今後、町農業委員会による審査を経て、承認された場合には、宮代町の新しい農家として本格的な農業経営を開始することになります。



お問い合わせ

宮代町役場産業観光課
農業振興担当

企画趣旨

農業生産基盤の整備を推進し、農業生産の効率化・省力化を図るとともに、特定の担い手への農地集積化を推進し、農作業環境の向上を目指します。

平成 29 年度 上半期の実施内容／工程実施状況【完了】

(1) 集落営農についての情報発信

- ・29 年 3 月 26 日に設立された「若宮地区陸田管理組合」が、「多面的機能支払交付金」の事業採択を受け、29 年 4 月 1 日より共同活動（浚渫・藻刈・除草等の作業）に取り組んでいます。また、同事業の実施に際し、町から「多面的機能支援事業費補助金（補助金額：288,100 円）」を交付しました。
- ・「多面的機能支払交付金制度」を他の地域・地区へ波及させていくため、「農業振興事業の概要（29 年度版）」を活用して、農家組合長会議等を通じて情報提供を行いました。既に実施に向けて検討を始めている地区のうち、前原・西地区、宮東内野地区では、30 年度からの事業採択に向けた準備を進めていくことになりました。今後、勉強会等を通じて本制度に対する理解を深め、活動組織の設立に向けた支援を行っていくことになりました。

(2) 小規模農地基盤整備事業補助事業の推進

- ・「農業振興事業の概要（29 年度版）」を活用し、農家に対し補助事業の積極的な活用を提案・呼びかけを行いました。昨年度中に 29 年度での補助事業の実施に向けて相談のあった農業者のうち、1 名の農業者に対し、事業計画（施工計画）の作成支援を行いました。

(3) 用排水路の整備

- ・県費単独土地改良事業を活用した、宇山崎地内の土水路（延長 254 ㍎）のコンクリートフリーム水路への改良工事の実施に向け、測量設計を行っています。

(4) 過度な経費負担を伴わない基盤整備事業の研究

- ・農業委員会及び農地利用最適化推進委員との連携協議を重ね、町内の水田農業促進エリア（宮代町農業振興地域整備計画の中で水田農業促進エリアとして位置づけている区域）の中から、百間地区・須賀地区からそれぞれ 2 地区ずつをモデル候補地域として、地域内で水田を有する方や耕作する方を対象に「水田農業に関するアンケート調査」を 7 月に実施しました。※調査対象者 302 人 回答者 200 人

主な成果目標（平成 28 年～平成 32 年）

○農地の集約面積（利用権設定面積）105ha ⇒ 98.1ha ※平成 29 年 9 月 30 日現在

後期実行計画で示した工程

実施内容	実施主体	実施年度									
		H28		H29		H30		H31		H32	
		上	下	上	下	上	下	上	下	上	下
小規模基盤整備事業の実施	産業観光課	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
農業用排水路の改良	産業観光課	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
集落営農の推進、埼玉型圃場整備事業の検討	産業観光課	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

平成 29 年度 下半期の実施予定

(1) 集落営農についての情報発信

- ・既に 30 年度からの実施に向けて検討を始めている前原・西地区、宮東内野地区において、勉強会等を通じて本制度に対する理解を深めるとともに、活動組織の設立に向けた規約や事業計画等の作成支援を行っていきます。

(2) 小規模農地基盤整備事業補助事業の推進

- ・農家に対し補助事業の積極的な活用を引き続き呼びかけていきます。
- ・申請希望者に対しては、事業実施に向けた申請手続等の支援を行っていきます。

(3) 用排水路の整備

- ・測量設計等を踏まえた整備計画に関する地元説明会を開催し、業者選定を行って工事に着手します。

(4) 過度な経費負担を伴わない基盤整備事業の研究

- ・「水田農業に関するアンケート調査」の分析結果を踏まえ、農業委員会及び農地利用最適化推進委員と協議しながら、今後、特にモデル地域として推進していくべき地域を選定し、将来の農地の集積・集約化に向けた地元での話し合い等を進めていきます。また、農地の集積・集約化をする上で基盤整備を実施していく場合には、農地中間管理事業を活用した補助事業等、できるだけ地元負担の軽減が図られる有利な事業を最大限活用するなど、整備手法についても研究していきます。

[トップ](#) ▶ [行政情報](#) ▶ [農業](#) ▶ [農業振興](#) ▶

農地の集積・集約化に向けて

[2017年5月25日] ID:5757

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます



農地の集約化・集積に向けて

趣旨

宮代農業の基幹である稲作農業にとって最大のコストとなっているのは、生産基盤の脆弱性であり、特に1区画あたりの面積が小さいことがその最大の要因となっています。今日の米価の低迷や農業の担い手の減少、遊休農地の増加という稲作農業を取り巻く環境が厳しい中、生産者個々の努力による生産コストの低減には限界があると思われます。今後、さらに生産コストを下げ、生産効率の向上を図り、持続可能な農業経営をしていくためには、「農地の集約化や共同化」「耕作条件の改善（基盤整備）」への取り組みは避けて通れない重要な課題であると考えています。

そこで、町では、こうした課題を解決し、農地の集約化や基盤整備に結び付けていくための取り組みをスタートします。

宮代の農地の集積・集約化をする上での課題等

農地の集積・集約化をする上では、次に掲げる課題が挙げられます。

ア 圃場整備や水路整備などの基盤整備が未実施の地域が多いこと。

イ 水田区画面積が小さいこと。

ウ 担い手農家への農地集積は、いわゆる“人への集積”であり、面的に集約されていないため分散していること。

エ 担い手農家が少ないこと。

オ 転用への期待等、農地に対する資産的意識が高いこと。

課題解決に向けて

宮代町において、今後一層の農地集積・集約化を進めて行くためには、何よりも生産性の更なる向上が不可欠であり、生産コストの低減を図る上でも、“面的な集積・集約化”を念頭に入れて進めていく必要があると考えています。

そこで、「農家意向調査」を実施して、農地所有者や耕作者等からの意向を踏まえ、一定の理解が得られて、今後、面的集積・集約化への道筋が立つようであれば、「埼玉型圃場整備事業」や「農地耕作条件改善事業（農地中間管理事業による基盤整備事業）」等の基盤整備事業の活用・実施を視野に入れて推進していく必要があると考えています。

耕作条件の整備を実施することで、例えば、畦畔除去による区画拡大や暗渠排水整備による排水不良の解消など大きな効果が得られ、当町の課題である農地の区画拡大等耕作条件の改善が進むことによって担い手農家による更なる経営規模の拡大や耕作農地としての水田の活用・保全に繋がっていくものであると考えています。

推進エリアの選定

今後、農地の集積・集約化を推進していく上で推進エリア候補地を選定するための要件項目を、次のとおり設定します。

ア 「宮代町農業振興地域整備計画」に掲げる「水田農業促進エリア図」に位置づけられている水田であること。

イ 実現性の高いエリアであること（＝ニーズが高いところ）。

ウ 担い手経営体が確保されていること（担い手候補者を含む）。

エ 埼玉型圃場整備や中間管理機構の整備事業の活用が見込めること。

オ 他の地域と比較してモデル事業となり得ること。

これらの要件項目を踏まえ、今後農地の集積・集約化を推進していく推進候補エリアについて農業委員及び農地利用最適化

推進委員の皆さんと協議を重ね、農業振興地域内の農用地で、水田エリアに位置づけられ、水田が連たんする圃場から、モデル地域として百間地区内で2地区、須賀地区内で2地区を選定しました。

水田農業に関するアンケート調査について

町では、農地集積・集約化に向けた取組みを実施するための方策を検討するため、現在の営農状況や今後の意向等についてアンケートを実施いたしますので、ご協力の程、よろしくお願いします。

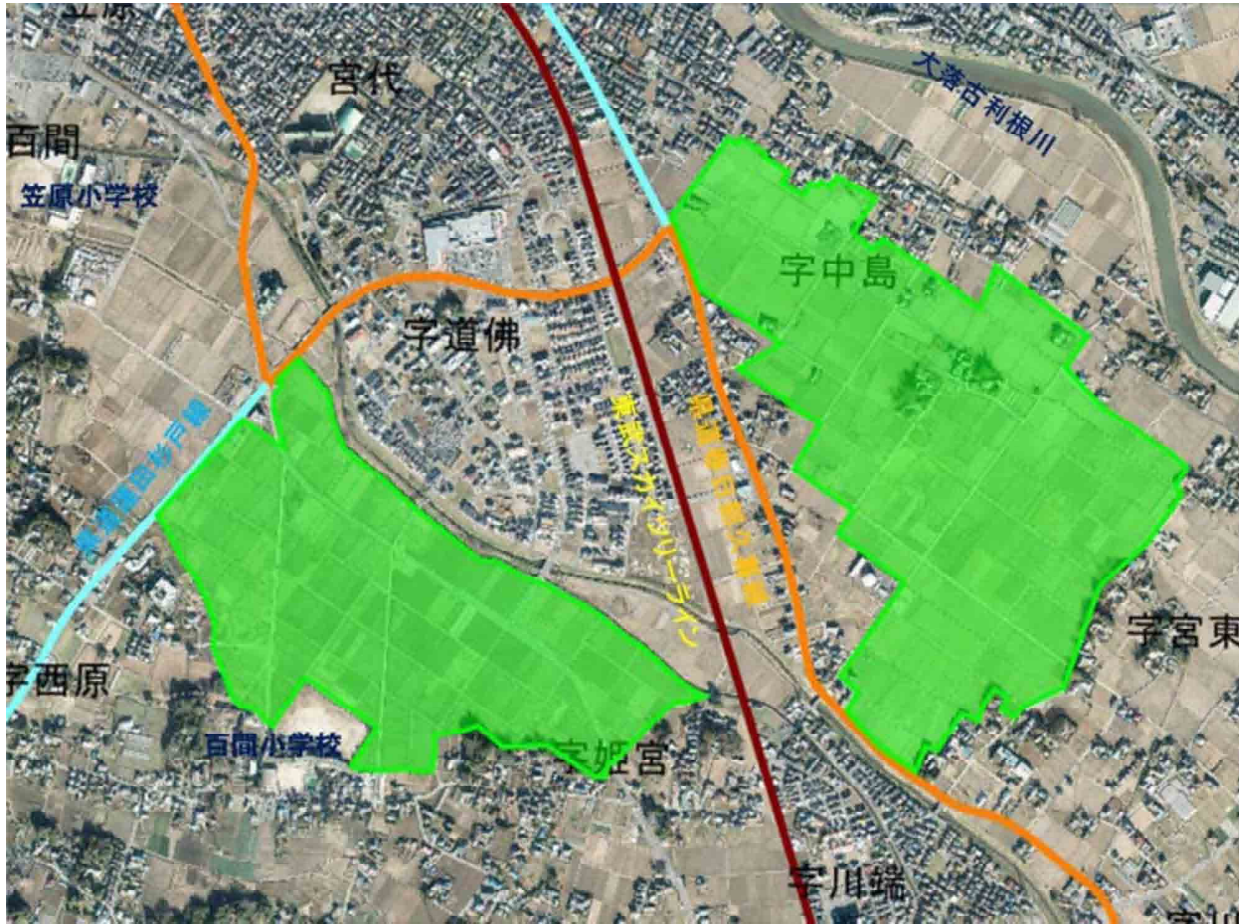
実施時期：平成29年6月

対象者：選定した4つの推進エリア内の水田で耕作する農家（又は水田を所有する農地所有者）の皆さま

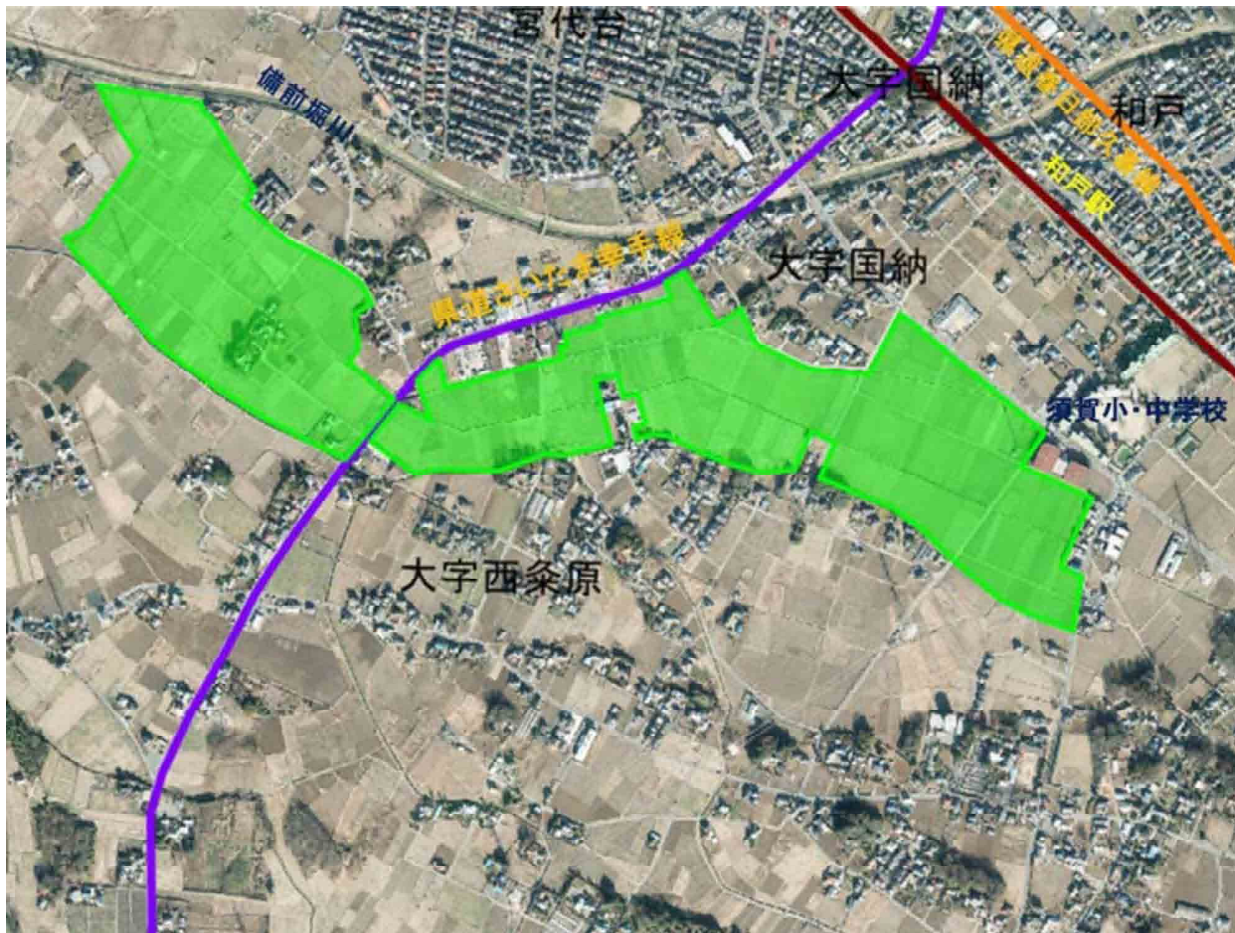
方法：対象者の皆さまに郵送にてご送付いたします。ご記入の上、同封の返信用封筒にてご返送をお願いします。

※ご不明な点がございましたら、担当までお問い合わせください。

百間地区アンケート対象地



須賀地区アンケート対象地



百間・須賀地区アンケート対象地



[百間・須賀アンケート対象地 \(ファイル名: monmasuka.pdf サイズ: 338.01KB\)](#)



PDFファイルの閲覧には Adobe Reader が必要です。同ソフトがインストールされていない場合には、
[Adobe社のサイトから Adobe Reader をダウンロード（無償）してください。](#)

お問い合わせ

宮代町役場産業観光課
農業振興担当

電話: 0480-34-
1111 (代表) 内線
262、263

ファックス: 0480-
34-1093

電話番号のかけ間違いに
ご注意ください! ———

[お問い合わせフォーム](#)

産業観光課農業振興担
当

[お知らせ](#)

[話題](#)

[宮代町農業委員会](#)

[補助金](#)

[農業振興](#)

公共施設再編第2期計画

企画財政課、教育推進課

企画趣旨

近い将来に訪れる更新時期を前にして、人口減少、少子高齢化が進んでおり規模の面からも、財政負担の面からも現状と同様のフレームでの施設更新は適切ではありません。次代のニーズ、行政需要に応じた適正規模の施設へと再編・集約を図ることで持続可能な行政運営を目指します。

平成29年度 上半期の実施内容／工程実施状況【一部未完了】

(1) 小中学校施設長寿命化の検討

- ・小中学校の再編には相応の期間を要することから、「長寿命化」を始めとした大規模改修についても併せて検討を行いました。（児童生徒数の推計、建物台帳の整理等）また、こうした活動や将来課題について、教育委員会だより等で広くお知らせしました。

(2) 借地の解消に関する方針の策定

- ・西原自然の森の借地については、7月に地権者と交渉し、購入に向けた調整を行いました。
- ・他の借地解消の方向性については、具体的な方針策定については至っていません。

主な成果目標（平成28年～平成32年）

○公共施設等総合管理計画の策定⇒ 公共施設等総合管理計画の策定（平成28年度達成済）

後期実行計画で示した工程

実施内容	実施主体	実施年度									
		H28		H29		H30		H31		H32	
		上	下	上	下	上	下	上	下	上	下
公共施設等総合管理計画の策定	企画財政課	→									
小中学校適正配置・公共施設再編	教育推進課 関係課	→									
借地の解消	企画財政課	→									

平成29年度 下半期の実施予定

(1) 小中学校の適正配置にあたっての取組み

- ・小中学校の再編計画は長期に亘ることから、施設の長寿命化についても検討します。しかし、今後も、課題として「児童生徒数減少」、「学校施設建替」があることに変わりはなく、児童生徒数の推計など、その動向等を引き続き注視・検証していきます。
- ・保護者や地域住民の意向を反映するための情報提供の一環として、小中学校の再編にあたっての現状や課題を教育委員会だよりなどで発信します。

(2) 借地の解消に関する方針の策定

- ・引き続き西原自然の森の借地解消に取り組みます。平成30年度中に西原自然の森の借地を購入するために、地権者と交渉をするとともに、次年度予算の確保をしていきます。また、借地については、取得する施設や年度等の具体的方針について定めます。



みやしろ

No.1

平成29年度の主な取組

宮代町教育委員会では、平成28年度に策定した教育振興基本計画（H28-32）に掲げる将来像「憧れを未来につなぎ、生きる力を育む宮代教育」の実現に向けて、二つの方針、五つの基本目標に沿った活動を推進しています。この中で、平成29年度特に力を入れて取り組んでいるのはつぎのとおりです。

将来像

憧れを未来につなぎ、生きる力を育む宮代教育

方針

未来を拓く、心豊かでたくましい
児童生徒の育成

町民の創意を生かした
学びの場づくり

基本目標

1. 確かな学力と
自立する力
の育成

2. 健康で心豊かな
児童生徒
の育成

3. 地域に開かれた
質の高い学校教育
の推進

4. 家庭・地域の
教育力の向上

5. 生涯学習と
スポーツの振興

基本目標 1 外国語教育の推進

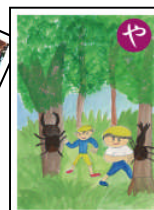
平成32年度からの小学校における英語教育の教科化を見据えて、文部科学省から「英語教育地域強化拠点事業」の研究指定を受けて取り組んでいます。



郷土を学ぶ道徳教育

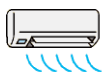
基本目標 2

毎年11月19日を「宮代道徳の日」と定め、各小中学校で様々な取組を行っています。
また、道徳副教材として「島村盛助」「どんぐりピアノ」「山崎山」を活用して学んでいます。



教育環境の向上

学びの環境をより快適なものとするため、小中学校すべての普通教室と音楽室にエアコンを設置します。（平成30年3月完成予定）



学校情報の公開

各小中学校のごとに特色あるホームページにリニューアルします。

基本目標 3

基本目標 4 体験活動の充実

町内及び近隣の大学や施設、団体との連携により「子ども大学みやしろ」や「あそべんちゃーわーど」、「プログラミング体験講座」、「青少年相談員サマーキャンプ」など、地域の将来を担う子どもたちのための多様な体験活動の場を用意しています。



スポーツの振興

基本目標 5

成人男女の運動実施率が低いことが明らかになっています。おとなの運動広場＜スポーツフィールド＞は、主にこれら成人に適切な運動の機会を提供することを目的とし、決まった時間に、決まった場所に行けば、一人でも親子でも楽しく運動ができる環境を目指しています。



■平成29年7月2日（日） 新かるたによる初めての大会を開催

進修館で新みやしろ郷土かるた大会が開催され、過去最多の80チーム240名の小学生が栄えある初代チャンピオンを目指して熱戦を繰り広げました。大会の運営には、宮代町子ども会育成連絡協議会のジュニアリーダー（中学生ボランティア）、宮代町青少年相談員、杉戸町ジュニアリーダー、共栄大学教育学部の学生、宮代町新採用職員など、多くのボランティアに読み手や審判などの協力をいただきました。



■「ビブリオバトル」この本イチオシ”中学生大会の参加者募集！！

ビブリオバトルとは、お気に入りの本を紹介しあうコミュニケーションゲームで、「知的書評合戦」とも呼ばれています。参加者は、順番にお気に入りの本の魅力を持ち時間5分で発表し、観戦者を含む参加者全員の投票で最多票を集めた本を「チャンプ本」として決定します。

・日時：平成29年11月12日（日）午後2時～3時30分

・会場：町立図書館ホール

・対象：町内在住の中学生

・申込：応募用紙に必要事項を記入の上、10月29日（日）までに、図書館に提出

※応募用紙は、町立図書館、教育委員会窓口、各中学校図書室等で配布します。問合せ 町立図書館 34-9944

・その他：どなたでも観戦できます。※当日受付（先着30名）

■町民体育祭りリニューアル

宮代町体育協会が中心となって、「より参加しやすく、楽しめる体育祭」を目指して見直しを行いました。今年は、種目等のリニューアルをいたします。皆さん是非、奮ってご参加ください。

○地区対抗種目へ有志参加枠の設置 地区で参加しない場合でも有志チームとして参加できます。

○地区対抗種目の参加枠の拡大 出場種目の制限をなくしました。また、同一種目に同一チームから複数参加できます。

○地区対抗種目以外の団体対抗種目の新設 スポーツ少年団対抗リレー、全チームでの紅白綱引きを新設しました。

○子育て世代への配慮 総合運動公園体育館内におむつ替えや授乳コーナーを設置します。

●予備日の設定（平成30年度から）

平成30年度から開催日翌日に予備日を設けます。

★新種目

宮代で一番早い人決定レース！（100m走）参加者募集！

足の速さに自信のある方、ぜひご参加ください。

「宮代で一番早い人」の称号を手に入れよう！

対象：中学生以上（男女別）

定員：64名（予定・先着順）



問合せ 生涯学習担当・スポーツ振興担当 内432～434

地域説明会での声にお応えするために…

町立小中学校の適正配置

宮代町の小中学校は人口が急増した昭和40年代～50年代にかけて新設や増築が行われたため、近い将来建替えの時期を迎えますが、この間少子化が進行したため児童生徒数は減少し、ピーク時の半以下になっています。このため、将来見込まれる児童生徒数と校舎の建替えに合わせた学校の規模と配置の適正化を進めています。

■これまでの取組

「小中学校適正配置」の取組は、平成25年6月の教育委員会諮問に基づく審議会活動が始まりです。この審議会では、全8回の全体会議と3つのワーキンググループを通じて熱心に議論を重ね、平成26年12月に「宮代町立小中学校の適正配置に関する基本的考え方」を答申しました。町ではこの答申の趣旨を踏まえつつ、この間実施した「意識調査」「ワークショップ」「教育フォーラム」などの成果を「宮代町立小中学校適正配置計画」としてまとめました。

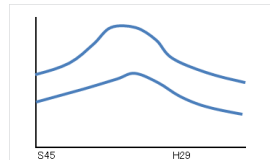
■29年度の取組…

これまでの審議会や意識調査などの結果を踏まえてまとめた計画を元に、将来の町立小中学校の規模と配置の適正化について、地域住民の皆様へご説明し、様々な御意見を伺うことが出来たため、研究と検証作業を進めています。

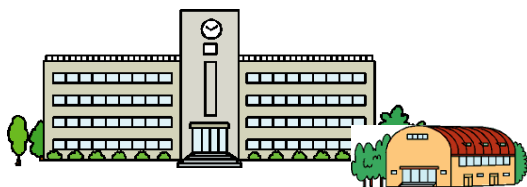
① 将来人口推計の更新

主に道仏地区土地区画整理事業住宅開発に伴い、人口が増加しています。

義務教育施設である小中学校は、その地域に住む児童生徒数に応じて規模が決まるため、将来の推計については引き続き見守ります。



② 長寿命化の検証と大規模改修



宮代町の小中学校は児童生徒が急増した昭和40年代～50年代にかけて建築されたため最も新しいものでも既に築30年を超えています。仮に「再編」を行う場合でも、一度に全ての学校を整備することは困難であるため、「長寿命化」による改修についても検討しています。



③ 地域の将来像

町の「適正配置計画」では、小学校を地域の核とした地域づくりを目標としています。

従って、各地域ごとの将来像についても描いていきます。

問合せ 教育総務担当 内425